

第5次戸田市生涯学習推進計画進捗状況（結果比較）

評価基準

A：目標以上の取組を実施した
 B：目標どおり実施した
 C：実施をしたが目標を下回った

D：未着手
 評価不可：新型コロナの拡大等で全ての事業が見送り・中止となり未着手となった

基本方針	施策	方策	取組数	令和3年度					令和4年度					令和5年度					
				評価別事業数					評価別事業数					評価別事業数					
				A	B	C	D	評価不可	A	B	C	D	評価不可	A	B	C	D	評価不可	
1 新たな自分に出会う ～学びのキッカケづくり～	(1)学習活動のキッカケの提供	ICTの活用	3	1	2	0	0	0	3	0	0	0	0	3	0	0	0	0	
		キッカケとなる講座等の拡充																	
	(2)情報提供・相談体制の強化	多様な媒体を活用した情報提供体制の強化	5	2	2	1	0	0	0	2	3	0	0	0	4	1	0	0	0
		相談体制の強化																	
合計			8	3	4	1	0	0	5	3	0	0	0	7	1	0	0	0	
2 人生100年時代を豊かに生きる ～ライフステージや多様な市民ニーズに応じた学びの提供～	(1)ライフステージに応じた学びの充実	乳幼児期における学びの充実	37	7	24	0	0	6	13	20	1	1	2	24	11	2	0	0	
		小学生期における学びの充実																	
		中学・高校生期における学びの充実																	
		成人期における学びの充実																	
		高齢期における学びの充実																	
		リカレント教育(社会人の学び直し)の推進																	
	(2)共生社会の学びの支援	人権意識の高揚	16	3	11	0	0	2	4	10	0	0	2	9	6	1	0	0	
		障がい者の学びの支援																	
		性別や国籍を問わない学びの支援																	
	(3)現代的・社会的課題や市民ニーズに応じた学びの充実	「地域を知る」学びの推進	21	6	9	5	0	1	8	10	3	0	0	11	8	2	0	0	
		「命を守る」学びの推進																	
		戸田市民大学の充実																	
		環境教育の推進																	
		健康寿命の延伸につながる学びの支援																	
		消費者教育の推進																	
	SDGsの普及啓発																		
	(4)気軽に活用できる施設を目指して	図書・読書活動の推進	33	13	15	3	0	2	16	15	1	0	1	26	5	1	0	1	
		郷土博物館活動の推進																	
		彩湖自然学習センター(みどりパル)活動の推進																	
		公民館等の活動の推進																	
	(5)スポーツ・文化芸術活動の推進	施設・設備の充実	14	0	9	4	0	1	5	6	2	0	1	7	5	2	0	0	
スポーツ・レクリエーション活動の推進																			
文化芸術活動の推進																			
合計			121	29	68	12	0	12	46	61	7	1	6	77	35	8	0	1	
3 まちを元気に ～学びの成果の活用と交流の仕組みづくり～	(1)子どもの「育ち」を支える学校・家庭・地域の力	家庭教育の推進	8	2	6	0	0	0	2	6	0	0	0	4	4	0	0	0	
		学校との連携																	
		地域との連携																	
	(2)地域を元気にする学びの推進	地域活動のはじめの一步	13	2	9	2	0	0	5	5	3	0	0	7	5	1	0	0	
		地域で活躍する人材の養成と支援																	
		地域課題の解決に向けた学びの推進																	
	(3)学習の成果共有と意欲向上	学習成果の共有	7		4	1	0	2	1	4	2	0	0	1	4	2	0	0	
		学習意欲の向上																	
	(4)協働体制の構築	市民・大学・企業・関係機関等との連携強化	7	1	6	0	0	0	1	6	0	0	0	4	2	1	0	0	
		計画の推進体制																	
合計			35	5	25	3	0	2	9	21	5	0	0	16	15	4	0	0	

基本方針1 新たな自分に出会う～学びのキッカケづくり～

施策	方策	担当課	具体的な取組内容	R3年度当初目標 (数値または状態)	R3年度 評価	R3年度取組概要	R4年度 評価	R4年度取組概要	R5年度取組予定	R5年度取組 の評価	R5年度の取組概要	R6年度の取組予定	R7年度最終目標値 (数値または状態)
学習活動の キッカケ の提供	ICTの活用	生涯学習課	・HPでの生涯学習やリカレント教育に関するリンク集の拡充 ・市民大学等でのオンライン講座の開設 ・多忙な現役世代向けの新たな配信コンテンツ(音声のみ、短時間動画など)の導入の調査研究や生活スタイル紹介	・HPでの生涯学習やリカレント教育に関するリンク集の拡充 ・zoomライセンスを取得し、オンラインでの講座配信や、YouTubeでの動画公開を行う ・音声配信コンテンツの導入プロセスの決定 ・市民の生涯学習の取組事例をHP、SNSで紹介(検討)	B	・講座のオンライン配信(10講座)、オンデマンド配信(5講座)実施 ・市民の生涯学習の取組事例を、広報戸田市の紙面で紹介した。	A	・HPでリカレント教育に関するリンク集を公開 ・講座のオンライン配信(1回)、オンデマンド配信(12回)を実施 ・市民大学アーカイブズを開設し、生涯学習関連動画を掲載した。	・HPでの生涯学習やリカレント教育に関するリンク集の拡充 ・講座のオンライン配信に加え、公民館等を会場にサテライト受講できるような体制にする。 ・学習コンテンツを音声や短時間の動画で配信し、それらの情報をHPに集約する。	A	・HPに経済戦略室実施の講座情報のリンクを追加した。 ・公民館3館でオンデマンド講座を各1回開催した。 ・市民大学講座と公民館講座の様子がわかる1分間の動画を作成し、HPに掲載した。	・HPの充実に向けた研究 ・公民館講座のオンデマンド配信の実施 ・ミニ講座の学習動画の作成・配信	・HPでの生涯学習やリカレント教育に関するリンク集の拡充 ・講座のオンライン配信に加え、公民館等を会場にサテライト受講できるような体制にする。 ・学習コンテンツを音声や短時間の動画で配信し、それらの情報をHPに集約する。 (アーカイブズ化)
		生涯学習課(図書館)	電子図書館(小規模)(実施2021年1月8日～) 電子図書館(大規模)	タイトル数 R2年度約7,500 約7,650 調査研究	タイトル数 R3年度 8,892冊 オーディオブックなど業者から説明を受け、実際に視聴した。	A	タイトル数 R4年度 9,999冊 (読み放題バック除く) 児童向け読み放題バックを導入した。	A	タイトル数約10,000冊を維持(利用回数制限等により、電子図書が増減はあるが、大幅な減冊がないようにしていきたい。) 継続して実施	A	タイトル数 R5年度 10,928冊 児童向け読み放題バックの継続導入	タイトル数10,928冊 11,500冊 継続して実施	タイトル数約10,000冊を維持 サービスの更なる充実
	生涯学習課	講座のメニュー見直し、新規講座の企画等	・とだ学の実施 ・新規講座の企画等に向けた各課との調整	B	・「彩湖から読み解く戸田の防災」を実施 ・現代課題講座(環境)、とだ学(防災)等、テーマに応じて各課と連携を図った。	A	・とだ学「戸田市の教育を知ろう!～戸田東小・中学校の見学を通して～」を実施 ・シニア向け市民大学講座(新規講座)の実施に向けた関係課と調整し、具体的な講座内容を決定した。	A	・とだ学「介護施設をたずねてみませんか」を実施 ・シニア向け市民大学の実施(公民館3館)	A	・とだ学の実施 ・人生100年応援コースの市民大学講座を各公民館で実施	・とだ学の実施 ・新規講座の企画等に向けた各課との調整	
情報提供・相談 体制の強化	多様な媒体を活用した 情報提供体制の強化	生涯学習課	講座・イベント等生涯学習情報の発信方法の拡充(図書館のHPや予約完了通知メールでの講座情報の周知、SNSや各種広報誌での周知)	講座・イベント等生涯学習情報の発信方法の拡充(図書館のHPや予約完了通知メールでの講座情報の周知、SNSや各種広報誌での周知)	A	・広報、SNSでの周知に加え、メールマガジンの配信を試験的に行った。	A	広報、SNSでの周知に加え、メールマガジンの配信を定期的に行った。メールマガジンの希望者は講座を実施することに増加している。	講座・イベント等生涯学習情報の発信方法の拡充(LINEの活用、SNSや各種広報誌での周知)	A	・SNSの講座情報発信として、見やすい講座情報画像の掲載、新着情報の発信などを随時実施し、講座参加者の増加につなげた。 ・生涯学習情報冊子の統合に向けた研究の実施。	・情報発信の継続 ・生涯学習情報冊子(統合版)の発行	講座・イベント等生涯学習情報の発信方法の拡充(図書館のHPや予約完了通知メールでの講座情報の周知、SNSや各種広報誌での周知)
		生涯学習課	講座の対象者に合わせ、関係課に周知を依頼	講座の対象者に合わせ、関係課に周知を依頼	A	・子育て世代対象の講座チラシを、市内保育園に配架してもらった。	A	市民企画講座「家族で取り組む産後ケア」のチラシを、福祉保健センターと連携し、乳幼児健診や赤ちゃん訪問時に配布してもらった。	講座の対象者に合わせ、関係課に周知を依頼	A	講座の対象者に合わせ、関係課へ情報発信するとともに、チラシ配架を依頼した。	継続して実施	講座の対象者に合わせ、関係課に周知を依頼
		市長公室	広報戸田市やSNSを通じて講座やイベントを紹介し、広く市民に対し生涯学習情報を提供する。	講座等の情報を継続的に発信する。	B	広報戸田市やSNSを通じて講座やイベントを紹介し、広く市民に対し生涯学習情報を提供する。	B	・広報戸田市への掲載 ・SNSアカウントでの発信 ・市公式YouTubeアカウントでの動画配信	広報戸田市やSNSアカウントを通じて講座やイベントについてお知らせするほか、市公式YouTubeで各種講座の動画を配信し、広く市民に対し生涯学習情報を提供する。	B	・広報戸田市への掲載 ・SNSアカウントでの発信 ・市公式YouTubeアカウントでの動画配信	広報戸田市やSNSアカウントを通じて講座やイベントについてお知らせするほか、市公式YouTubeで各種講座の動画を配信し、広く市民に対し生涯学習情報を提供する。広報紙においては、情報ガイド欄で講座情報をお知らせするだけでなく、特集ページで取り組みの様子を詳しく伝える。	広報戸田市やSNSにて、各事業や講座の魅力を分かりやすく市民へ発信する。
	生涯学習課	社会教育指導員をはじめとした生涯学習課職員が窓口等で市民の相談に応じる	社会教育指導員をはじめとした生涯学習課職員が窓口等で市民の相談に応じる	B	窓口内に市内社会教育施設の活動に関する資料を置き、窓口で市民から問い合わせがあった際に対応しやすくなるよう工夫した。	B	窓口内に市内社会教育施設の活動に関する資料を置き、窓口で市民から問い合わせがあった際に対応しやすくなるよう工夫した。	社会教育指導員をはじめとした生涯学習課職員が窓口等で市民の相談に応じる	A	窓口内に市内社会教育施設の活動に関する資料を置き、問合せ対応に活用した。 職員がスムーズに相談対応できるよう、課内回覧等で知識を共有し、体制の強化に努めた。	継続して実施。	社会教育指導員をはじめとした生涯学習課職員が窓口等で市民の相談に応じる	
	協働推進課	ボランティア・市民活動支援センターの相談業務において、適切な情報提供やマッチング支援等を行う。	相談業務における需給調整件数(95件)	C	相談業務のうち、需給調整件数は30件であった	B	相談業務のうち、需給調整件数は42件であった。地域活動の自粛が徐々に解除され、令和3年度の実績と比較すると件数は増加した。	相談業務における需給調整件数(65件)	A	相談業務のうち、需給調整件数は92件であった。令和4年度の実績と比較すると50件増加した。	相談業務における需給調整件数(95件)	相談業務における需給調整件数(95件)	

基本方針2 人生100年時代を豊かに生きる ~ライフステージや多様な市民ニーズに応じた学びの提供~

施策	方策	担当課	取組内容	R3年度当初目標 (数値または状態)	R3年度 評価	R3年度取組概要	R4年度 評価	R4年度取組概要	R5年度取組予定	R5年度取組の 評価	R5年度の取組概要	R6年度の取組予定	R7年度最終目標 (数値または状態)		
乳幼児期 における 学びの充 実		保育幼稚園課	基本的な生活習慣を身につける教育・保育の充実	食育について(公立園にて実施)	A	基本的な習慣が身につけられるよう、食事の際個々に合わせた援助等を行った。	A	基本的な生活習慣が身につけられるよう、食事の際個々に合わせた援助等を行う。	食事までの保育内容を工夫し、食事時間を楽しみつつ、基本的なマナーを身に付けられるような援助等を行う。	A	食事までの保育内容を工夫し、食事時間を楽しみつつ、基本的なマナーを身に付けられるような援助等を行った。	献立の紹介や体にとってどのような働きがあるかを年齢に合わせ伝えたり、給食のできるにおいを嗅いだりすることで、食事の時間を楽しみにし、基本的なマナーを身に着けたり、友達と一緒に食べる楽しさを味わったりできるような援助を行う。	食育について(公立園にて実施)		
		保育幼稚園課	保育園等で子ども達の防災教育	月に1度の避難訓練実施(全園実施)引き渡し訓練、通報訓練(年2回)の実施	A	各園月1回の避難訓練に加え、様々な状況を想定した訓練も数回実施、引き渡し訓練(年1回)通報避難訓練(年2回)実施。	A	各園月1回の避難訓練の実施、引き渡し訓練(年1回)通報避難訓練(年2回)実施。	各園月1回の避難訓練の実施、引き渡し訓練(年1回)通報避難訓練(年2回)実施。	A	各園月1回の避難訓練の実施、引き渡し訓練(年1回)通報避難訓練(年2回)実施。	各園月1回の避難訓練(火災、地震、水害、大規模災害など)実施。引き渡し訓練(年1回)実施。通報避難訓練(年2回)実施。通報避難訓練のうち、1回は消防署職員の出動依頼をし、啓蒙を図る。	月に1度の避難訓練実施(全園実施)引き渡し訓練等の実施		
		保育幼稚園課	保育園等と小学校との連携事業	連携事業の実施(1年生と年長児の交流会、町歩き探検への協力、教育センター職員の訪問、相談等)	B	連携事業の実施として、教育センター職員の園訪問、小学校教諭の園訪問及びカンファレンスでの情報共有、幼保小の連絡会での情報共有、小学1年生と保育園児がZoomで交流する等を行った。	A	連携事業の実施。(教育センター職員の園訪問、小学校教諭の園訪問及びカンファレンスでの情報共有、幼保小の連絡会での情報共有、町歩き探検への協力等)	連携事業の実施。(1年生と年長児の交流会、教育センター職員の園訪問、小学校教諭の園訪問及びカンファレンスでの情報共有、幼保小の連絡会での情報共有、町歩き探検への協力等)	連携事業の実施。(1年生と年長児の交流会、教育センター職員の園訪問、小学校教諭の園訪問及びカンファレンスでの情報共有、幼保小の連絡会での情報共有、町歩き探検への協力等)	A	連携事業の実施。(1年生と年長児の交流会、教育センター職員の園訪問、幼保小の連絡会での情報共有、町歩き探検への協力等)	連携事業の実施。(1年生と年長児の交流会、教育センター職員の園訪問、幼保小の連絡会での情報共有、町歩き探検への協力等)	連携事業の実施(1年生と年長児の交流会、町歩き探検への協力、教育センター職員の訪問、相談等)	
		生涯学習課(彩湖)	草花遊びや昆虫観察を通して自然について慣れ親しむ	年1回講座実施「はらっぱであそぼう」	評価不可	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止	B	令和4年5月実施 26人参加	令和5年4月実施予定「はらっぱであそぼう」	A	令和5年4月実施 27人参加	令和6年4月実施予定「はらっぱであそぼう」	年1回講座実施「はらっぱであそぼう」		
		生涯学習課(彩湖)	親子で自然について慣れ親しむ講座を実施する	年4回講座実施「笹目川で投網体験」「和風を作ろう」「木の実を使ったリースづくり」「秘密の基地づくり」	B	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止(投網体験) ・「和風を作ろう」「木の実を使ったリースづくり」「秘密の基地づくり」を開催(計48人参加)	B	年4回講座実施 令和4年10月実施「投網体験」21人参加 令和4年12月実施「木の実を使ったリースづくり」20人参加 令和4年12月実施「和風を作ろう」15人参加 令和5年2月実施「竹を使ったものづくり」18人参加	年4回講座実施予定 令和5年6月実施予定「投網体験」 令和5年12月実施予定「木の実を使ったリースづくり」「和風を作ろう」 令和6年2月実施予定「竹を使ったものづくり」	B	年4回講座実施 令和5年6月実施「投網体験」18人参加 令和5年12月実施「木の実を使ったリースづくり」12人参加 令和6年2月実施「竹を使ったものづくり」19人参加	年4回講座実施予定 令和6年6月実施予定「投網体験」 令和6年12月実施予定「木の実を使ったリースづくり」「和風を作ろう」 令和7年2月実施予定「竹を使ったものづくり」	年4回講座実施「投網体験」「和風を作ろう」「木の実を使ったリースづくり」「竹を使ったものづくり」		
		生涯学習課(博物館)	親子向け講座の実施	1回	B	子ども体験ひろば「お正月かざりをつくろう」開催、1回	A	火おこし体験講座を6月と10月に2回、昔の遊び道具をつくる講座を8月に1回、昔の道具を使う講座を3月に1回行った。	年間3回	A	子ども体験ひろば「火おこしにちょうせん」4回開催、計14人参加 子ども体験ひろば「昔の道具を使ってみよう」2回開催、計17人参加	年間6回	4回		
		生涯学習課(図書館)	ブックスタート事業	継続して実施	A	4か月児健診に合わせ、中央図書館職員が絵本・参考資料を赤ちゃんと保護者に配付 1,138組	B	4か月児健診に合わせ、中央図書館職員が絵本・参考資料を赤ちゃんと保護者に配付 1,103組	継続して実施	B	4か月児健診に合わせ、中央図書館職員が絵本・参考資料を赤ちゃんと保護者に配付 1,078組	継続して実施	継続して実施		
		小学生期 における 学びの充 実		児童青少年課	小学生が安全に様々な遊びや工作に取り組める環境を作り、創作意欲を高める。	児童センターにおいて、遊びや工作のイベントを安全に実施する。	B	コロナ禍のため、遊びや工作のイベントについては規模を縮小し、安全に実施した。	B	コロナ禍の中、徐々にイベントを復活させ、遊びや工作のイベントを安全に実施することができた。	コロナによる規制が減ったことで、より多くの遊びや工作に係る事業を実施する。	A	児童センターにおいて、遊びや工作のイベントを安全に実施した。	児童センターにおいて、遊びや工作のイベントを安全に実施する。	児童センターにおいて、遊びや工作のイベントを安全に実施する。
				生涯学習課(公民館)	近隣の大学等と連携し、体験型学習を中心とした講座を1クール実施する。	実施されている	B	オンライン配信にて実施。	A	・子ども大学で、日本薬科大学、青山学院大学と連携し各講座を実施(参加者数41人)	・子ども大学で近隣の大学等と連携して講座を開催	A	・子ども大学で、青山学院大学と連携し各講座を実施(参加者数28人) 日本薬科大学と連携し講座を実施(参加者数17人)	・子ども大学で近隣の大学等と連携して講座を開催	実施されている
				生涯学習課(公民館)	子ども向け・親子向け講座の実施	継続して実施	B	新型コロナウイルス感染対策にて中止となった講座もあるが、工作講座や料理講座、親子体操などの講座を実施	B	・子ども向け講座回数 18回(参加者数 199人)	・子供向け講座、子ども大学を開催	A	・子ども向け・親子向け講座回数 16回(参加者数 211人) ・子ども大学 4回(参加者数 199人)	・子ども向け講座、子ども大学を開催	継続して実施

基本方針2 人生100年時代を豊かに生きる ~ライフステージや多様な市民ニーズに応じた学びの提供~

施策	方策	担当課	取組内容	R3年度当初目標 (数値または状態)	R3年度 評価	R3年度取組概要	R4年度 評価	R4年度取組概要	R5年度取組予定	R5年度取組の 評価	R5年度の取組概要	R6年度の取組予定	R7年度最終目標 (数値または状態)
	生涯学習課(彩湖)	生涯学習課(彩湖)	自然、伝統文化等の講座を実施する	年3回「春の七草」「和風づくり」「笹目川で投網体験」	B	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止(投網体験) ・「和風づくり」「春の七草」を開催(計26人参加)	B	年3回実施 令和4年5月「初夏の野草を楽しもう」8人参加 令和4年10月「投網体験」21人参加 令和4年12月実施「和風をつくろう」15人参加	年3回実施予定 令和5年5月実施予定「植物ウォッチングにでかけよう:初夏」 令和5年6月実施予定「投網体験」 令和5年12月実施予定「和風をつくろう」	A	年3回実施 令和5年5月「植物ウォッチングにでかけよう:初夏」18人参加 令和5年6月「投網体験」18人参加 令和5年12月実施「和風をつくろう」15人参加	年3回実施予定 令和6年5月実施予定「植物ウォッチングにでかけよう:初夏」 令和6年6月実施予定「投網体験」 令和6年12月実施予定「和風をつくろう」	年3回 「植物ウォッチングにでかけよう」 「投網体験」「和風をつくろう」
		生涯学習課(博物館)	大学からの学芸員実習の受入れ	5人	B	実習期間:7日間、受入人数:5人	B	7月に3人受入れを行った。	10月に実施	B	実習期間5日間、受入人数3人	実習期間5日間、受入人数3人	7人
		生涯学習課(彩湖)	会員制の「こども自然クラブ」や様々な自然体験の講座を実施する	年約30回実施	B	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止や、天候により一部中止となったが大半は実施できた	A	年32回実施	年37回実施予定	A	年36回実施	年40回実施予定	年約30回実施
		都市交通課	自転車の安全利用の推進として小学4年生全員を対象とした「子ども自転車運転免許教室」を実施する。また、小学校からの要望に応じて、蕨警察署と協働し、交通ルール・マナーをはじめとする正しい自転車の乗り方等の交通安全教室を実施する。	年齢の特性に配慮した交通安全教室を実施する。	B	子ども自転車運転免許教室開催 小学校12校1,366人	B	子ども自転車運転免許教室開催 小学校12校1,403人	市内小学校 12校	B	子ども自転車運転免許教室開催 小学校12校1,349人	市内小学校 12校	年齢の特性に配慮した交通安全教室を実施する。
		教育政策室	小学校キャリア教育支援事業(キッズニア東京での職業疑似体験)	キッズニア東京で職業疑似体験をすることにより、豊かな感性や社会性、自律心を養い、たくましく豊かに生きる力を育ませる。	B	・市内7小学校で実施。 ・総計765が参加した。	B	・市内小学校全12校で実施した。 (12校,1362人)	・市内小学校全12校で実施し、豊かな感性や社会性、自律心を養い、たくましく豊かに生きる力を育ませる。	B	・市内小学校全12校で実施した。 (12校,1357人)	・市内小学校全12校で実施し、豊かな感性や社会性、自律心を養い、たくましく豊かに生きる力を育ませる。	事業を継続し、豊かな感性や社会性、自律心を養い、たくましく豊かに生きる力を育ませる。
ライフステージに応じた学びの充実	中学・高校生期における学びの充実	文化スポーツ課	スポーツ教室の開催	参加者数 52,258人	評価不可	庁内調査未実施のため評価不可	C	参加者数 34,280人	各種ポート教室、カヌー教室、スポーツセンタースポーツ教室等	C	参加者数 48,275人 (令和5年度分6月以降に調査予定のため、令和4年度実績)	各種ポート教室、カヌー教室、スポーツセンタースポーツ教室等	参加者数 57,350人
		協働推進課	【国内外友好・姉妹都市との交流事業】国内外の友好・姉妹都市との交流事業の継続・発展をとおして、市民に学習機会を提供している。	国内外友好・姉妹都市との交流事業の実施件数(32件)	B	新型コロナウイルスの影響により実施できた事業は6事業であった。	B	新型コロナウイルスの影響により、目標20事業のうち、実施できた事業は8事業であった。	国内外友好・姉妹都市との交流事業の実施件数(22件)	C	市民団体の交流が当初の予定よりも少なかったため、22事業のうち、実施できた事業は10事業であった。	国内外友好・姉妹都市との交流事業の実施件数(13件)	国内外友好・姉妹都市との交流事業の実施件数(32件)
		くらし安心課	市内全中学校において、在学中に一度は出前講座を受けられる様、3年に1回の出前講座開催を要請する。インターネットや契約トラブル等に関する講座を開催し、併せて消費者啓発冊子、啓発品を配布し、消費者教育を充実させる。	1年度に2校出前講座を開催する。	評価不可	新型コロナウイルス感染症の拡大により未実施	B	出前講座実施(2校) ・笹目中学校(628人) ・喜沢中学校(532人)	出前講座開催(2校)	B	消費者啓発冊子及び啓発品の配布 ・美笹中学校 ・戸田東中学校	消費者啓発冊子及び啓発品の配布(2校)	中学生に啓発冊子等を配布し、消費者教育に関する知識を取得する機会を得る。
		児童青少年課	戸田市青少年問題協議会において、青少年の施策についての連絡や情報交換を行い、健全な育成を図る。	青少年の施策についての連絡及び情報交換を行い、青少年の状況を確認する。	B	新型コロナの感染拡大防止対策を行いつつ、戸田市青少年問題協議会を開催し、青少年の施策についての連絡や情報交換を行い、青少年の状況を確認した。	B	コロナ禍で感染対策を行いつつ、青少年の施策についての連絡及び情報交換を行い、青少年の状況を確認できた。	青少年施策に係る情報交換等に加えて、非行防止問題をはじめ具体的な課題をもとに議論を行うことで、青少年の健全育成環境の整備に寄与する。	B	戸田市青少年問題協議会において、最近の青少年を取り巻く環境について情報交換を行い、青少年の状況を確認できた。 児童センターにおける青少年の居場所機能について検討課題とした。	青少年施策についての連絡及び情報交換を行い、青少年の課題について具体的な課題をもとに議論を行うことで、青少年の健全育成環境の整備に寄与する。	青少年の施策についての連絡及び情報交換を行い、健全な育成環境を整える。
		児童青少年課	児童センターにおいて、中高生主体のイベントの開催や、居場所を提供し、中高生利用者の定着に取り組む。	中高生主体のイベントを開催する。また、中高生の居場所、交流、活動の場所を作る。	B	・コロナ禍のため、中高生が主体となって行うイベントを中止とした。 ・自習席など中高生の居場所の拡充に努めた。	B	児童センターにおいて、コロナ禍で感染症対策を行いつつ、中高生主体のイベントの開催や自習用の机の購入等を実施した。	引き続き中高生が主体となるイベント等を実施するとともに、中高生が適正に通常利用できる環境を整備する。	A	児童センターにおいて中高生主体のイベントを開催し、自習席の提供機会を増やすなど、中高生が利用しやすい環境を整備した。	中高生主体のイベントを開催する。また、中高生の居場所、交流、活動の場所を作る。夜9時までの自習室等居場所の提供。	中高生主体のイベントを開催する。また、中高生の居場所、交流、活動の場所を作る。夜9時までの自習室等居場所の提供。
教育政策室	戸田市中学生社会体験チャレンジ事業(地域での社会体験活動)	地域の中での様々な社会体験活動(職業体験)をとおして、多くの人々とふれあい、学校では得られない経験を積むことにより、豊かな感性や社会性、自律心を養い、たくましく豊かに生きる力を育ませる。	評価不可	・新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止した。	評価不可	・新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止した。	・関係各所との協体制を再構築し市内中学校全6校で社会体験チャレンジを実施する。	B	・市役所各課のご協力により、消防、保育園等の公共施設18課所で268名を受け入れ、実施した。 ・市内中学校全6校で実施した。(6校,1,297人)	・市内中学校全6校で実施し、豊かな感性や社会性、自律心を養い、たくましく豊かに生きる力を育ませる。	事業を継続し、豊かな感性や社会性、自律心を養い、たくましく豊かに生きる力を育ませる。		

基本方針2 人生100年時代を豊かに生きる ~ライフステージや多様な市民ニーズに応じた学びの提供~

施策	方策	担当課	取組内容	R3年度当初目標 (数値または状態)	R3年度 評価	R3年度取組概要	R4年度 評価	R4年度取組概要	R5年度取組予定	R5年度取組 評価	R5年度の取組概要	R6年度の取組予定	R7年度最終目標 (数値または状態)
	生涯学習課(共通)		博物館授業でのボランティア募集	ボランティア募集の開始	評価 不可	コロナ禍の影響により、対面授業を中止とし、オンライン授業としたため、ボランティア募集を実施しなかった。	D	オンライン授業の為、ボランティア募集は行わなかった。	ボランティア募集を20人程行う。	B	ボランティア既登録者の御協力により、5名の新規登録があった。	継続して実施	20人
	生涯学習課(共通)		中学校3daysの受入れ	年3校	評価 不可	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止	評価 不可	未実施	12月に1校の受入れを行う。	A	1校を受入れ(郷土博物館) 5校受入れ(彩湖)	1校を受入(郷土博物館) 全6校受入れ予定(彩湖)	年3校
成人期における学びの充実	子育て支援課		育児中の保護者向けに専門知識のある方に講演いただく子育て講演会、地域子育て支援拠点に常駐する子育てアドバイザーによる育児に役立つプチ講座を開催し、育児を通じた親への学びの場を提供する。	子育て講演会の実施(2回)、 プチ講座の実施(8回)	A	・子育て講演会の実施 2回 ・プチ講座の実施 9回	A	・子育て講演会の実施 3回 ・プチイベントの実施 11回	・子育て講演会の実施 2回 ・プチイベントの実施 10回	A	・子育て講演会の実施 2回 ・プチイベントの実施 10回	・子育て講演会の実施 2回 ・プチイベントの実施 10回	子育て講演会の実施(2回)、プチ講座の実施(9回)
	生涯学習課		生活向上や地域課題解決のための学習機会の充実	生活向上や地域課題解決とのつながり、若年層向けの内容を意識した市民大学講座の検討	B	生涯学習サポーター養成講座「観光で読み解く戸田のまちづくり」では、観光の視点から改めて地域づくりについて考える講座を実施した。市民企画講座「子育てのためのマインドフルネス」では、子育て世代をメインターゲットとした講座を実施した。	A	当初1回を予定していたところ、2回の講座を実施。子育て世代をメインターゲットにした「家族で取り組む産後ケア」や、「みんなで正しく知る乳がんのこと」を実施し、市民目線で地域社会の課題について学んだ。	生活向上や地域課題解決とのつながり、若年層向けの内容を意識した市民大学講座の検討	A	・市民大学(公民館3館)を、健康や国際理解のテーマで実施した。 ・現代課題講座では、子供から高齢者まで関心のあるテーマを扱った(メディアリテラシー、フェイクニュース)。 ・市民大学講座分類を見直し、「現代課題」、「地域活躍・人材育成」分野を設定し、市民目線で生活向上・地域課題解決の講座をわかりやすくした。	引き続き、生活向上や地域課題解決につながる講座や、若年層の参加を意識した講座を検討する。	生活向上や地域課題解決とのつながり、若年層向けの内容を意識した市民大学講座の実施
	生涯学習課(生涯学習担当)		参加者層に適した講座の開催方法の工夫	若年層のニーズを踏まえた上での講座の開催時間の検討(夜間開催等)、託児付き講座の実施	B	市民企画講座「子育てのためのマインドフルネス」では、参加者層に合わせて託児室を開設した。	B	埼玉大学連携講座では、市民ニーズを反映し、4回の内2回をオンデマンドのみの実施とした。「家族で取り組む産後ケア」では託児室を開設した。	若年層のニーズを踏まえた上での講座の開催時間の検討(夜間開催等)、託児付き講座の実施	A	ほぼすべての市民大学講座でオンデマンドを実施した。家庭教育講演会、人権講演会では、託児付きの講座を実施した。	テーマに応じて託児つき講座を実施する。講座の開催時間については、ニーズの把握を行うとともに、他部署や他市の事例も参考に検討していく。	若年層のニーズを踏まえた上での講座の開催時間の検討(夜間開催等)、託児付き講座の実施
	生涯学習課(博物館)		一般向け講座の実施	1回	A	文化財講座「戸田の流行神旧羽黒山と力石」、文化財街歩き「上戸田コース」各1回	A	12月にしめがかりをつくる講座、2月にアーカイブズ・セミナーを2回行った。	12月にアーカイブズ・セミナー(古文書解読講座)を2回行う。	A	アーカイブズ・セミナー「戸田の古文書を読んでみよう(初級編)」2回開催、延べ41人参加 昔のくらし展展示解説2回開催、計2人参加	アーカイブズ・セミナー2回開催 企画展展示解説2回開催	3回
	生涯学習課(公民館)		福祉行政及び地域包括、地域住民等との連携により、講演会等を開催し、高齢者の消費者被害未然防止を図る。併せて消費者啓発冊子、啓発品を配布し、消費者教育を充実させる。	年齢の特性に配慮した講演会等を開催する。	B	・消費生活展開催 1回(来場者数300人) ・消費生活講演会は新型コロナ拡大により中止	B	・消費生活展開催 1回(来場者数448人) ・消費生活講演会 1回(来場者数45人)	・消費生活展の開催 ・消費生活講演会の開催	B	・消費生活展開催 1回(来場者数382人) ・消費生活講演会 1回(来場者数49人)	・消費生活展の開催 ・消費生活講演会の開催	社会情勢に応じた消費者被害の認知度が向上している。
高齢期における学びの充実	都市交通課		高齢者団体や町会など地域団体からの要望に基づき、年齢の特性に配慮した出前講座を実施する。また、スクエアストレイト教育技法を用いた一般向け自転車安全教室を実施する。	参加人数のさらなる増加を図る。	B	交通安全出前講座開催 2回	A	交通安全出前講座開催 2回 参加者24名	交通安全出前講座 2回	A	交通安全出前講座 5回 参加者39名	交通安全出前講座 2回	参加人数のさらなる増加を図る。
	生涯学習課(公民館)		高齢者の社会的ニーズや地域課題を取り扱う一連の講座を実施する。	実施	B	シルバー向け講座を「寿大学」「宝珠大学」「壮健大学」など一連の連続講座として実施。	B	シルバー大学講座回数 16回(参加者数 264人)	シニア世代向けのコースを設定し、連続講座を開催	A	シニア活躍応援講座回数 12回(参加者数 130人) 館外学習1回(参加者数14人)	シニア活躍応援の連続講座を開催	実施
	生涯学習課(公民館)		スマホ・パソコン質問コーナーの開催	実施	B	一時期、新型コロナウイルス感染対策のため中止としたが、スマホ・パソコン質問コーナーを定期的に実施。また、IT講座も実施。	B	スマホ・パソコン質問コーナーの開催 34回(参加者数 137人)	スマホ・パソコン質問コーナーを開催する 36回	A	スマホ・パソコン質問コーナーの開催 39回(参加者数 151人)	スマホ・パソコン質問コーナーやミニ講座を開催する 36回	実施
生涯学習課(公民館)		就職支援セミナーの実施	就職支援セミナー受講者延べ90名	A	就職支援セミナーを実施全14回開催(128名参加)	A	就職支援セミナーの実施全16回実施(176名)	就職支援セミナーの開催	A	就職支援セミナーの実施全16回実施(177名)	就職支援セミナーの開催	就職支援セミナー受講者延べ100名	

基本方針2 人生100年時代を豊かに生きる ~ライフステージや多様な市民ニーズに応じた学びの提供~

施策	方策	担当課	取組内容	R3年度当初目標 (数値または状態)	R3年度 評価	R3年度取組概要	R4年度 評価	R4年度取組概要	R5年度取組予定	R5年度取組の 評価	R5年度の取組概要	R6年度の取組予定	R7年度最終目標 (数値または状態)
リカレント教育 (社会人の学び直し)の推進	経済戦略室		起業支援セミナーの実施	起業支援セミナー受講者延べ80名	A	女性向け・起業支援セミナー・女性向け起業支援セミナー開催延べ97名	A	起業支援セミナー・女性向け起業支援セミナー開催延べ87名	女性向け起業支援セミナーの開催 ・起業支援セミナーの開催	A	起業支援セミナー・女性向け起業支援セミナー開催延べ102名	女性向け起業支援セミナーの開催 ・起業支援セミナーの開催	起業支援セミナー受講者延べ100名
	親子すこやか室		ひとり親家庭教育訓練給付金による講座受講等への支援の実施 ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金等事業による就労に生かすための資格の取得に対する支援 ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業による給付支援の実施について、周知を行う。	広報、ホームページによる事業周知を行う。	B	広報、ホームページによる事業周知を行った。	B	広報、ホームページによる事業周知を行った。	広報、ホームページによる事業周知を行う。	B	広報、ホームページによる事業周知を行った。	広報、ホームページによる事業周知を行う。	広報、ホームページによる事業周知を行う。
	生涯学習課		公民館等と連携した就労支援や職業能力を高める学習機会、資格関連講座の充実(特に女性の就職・再就職支援に関する講座など)	公民館と連携し就労支援や職業能力を高める学習機会や資格関連講座の充実に向けた検討	B	リカレント教育に関する講座を計画し、令和4年度の講座計画に反映した。	B	リカレント教育に関する講座を計画し、令和5年度の講座計画に反映した。	公民館と連携し就労支援や職業能力を高める学習機会や資格関連講座の充実に向けた実施	A	リカレント教育に関する講座を計画し、人材バンクの活用など地域人材との連携により、各公民館で講座を開催した。	公民館と連携し就労支援や職業能力を高める学習機会や資格関連講座の工夫を行うとともに、利用者の声を取り入れて適宜内容の見直しを行う。	公民館と連携し就労支援や職業能力を高める学習機会や資格関連講座を実施。人材バンクや地域人材を活用する。
	生涯学習課		学習歴が可視化できるツールの調査・研究	学習歴が可視化できるツールの調査・研究	B	春日部市、京都市等、他自治体での取り組みについて調査・研究を行った。	A	令和5年度からの運用に向けて戸田市版学習記録ツールを作成した。	学習記録ツールの周知を行い、利用者に使用してもらおう。また、利用者の声を取り入れて適宜見直しを行う。	A	戸田市版学習記録ツールの運用を開始した。 使用感についてアンケートし、適宜内容の改善を実施した。	利用者を増加させるため、情報周知の工夫を行うとともに、利用者の声を取り入れて適宜内容の見直しを行う。	学習記録簿(電子または紙媒体)の作成・配布
	生涯学習課		リカレント教育に関する市民ニーズ等の調査・分析	リカレント教育について明らかにしたい項目を定め、各講座で使用する受講者アンケート等に取り入れる。	B	今後学びたいテーマについてアンケートを行い、受講者の学び直したい分野のニーズを調査することができた。	B	今後学びたいテーマについてアンケートを実施し、受講者の学び直したい分野のニーズを調査した。	リカレント教育について明らかにしたい項目を定め、各講座で使用する受講者アンケート等に取り入れる。	A	今後学びたいテーマについてアンケートを実施し、受講者の学び直したい分野のニーズを調査・分析し、講座計画に反映した。	学び直したいテーマについて、調査・分析をし、講座計画に反映する。	リカレント教育に関する市民のニーズ等に関するデータを集約し、データに基づいてリカレント教育に関する事業を実施する
共生社会の学びの支援	人権意識の高揚	生涯学習課	公民館等を会場としたパネル展等の開催	実施	B	人権啓発パネル展を実施。	B	・公民館まつりでパネル展示	・パネル展示を実施する	A	展示パネルをリニューアルし、パネル展を実施した。	パネル展示を実施する	実施
		生涯学習課	市民向けの人権啓発(講座・研修会、写真展・リーフレット配布等)	市民向けの人権啓発(講座・研修会、写真展・リーフレット配布等)	B	市民向けの人権啓発(講座・研修会、写真展・リーフレット配布)	B	・人権教育指導者研修会(11月) ・人権リーフレット配布(12月) ・人権写真展、公民館展示(12月) ・人権講演会(1月)	・講座を引き続き実施 ・公民館展示リニューアル実施 ・リーフレットの廃止に伴う広報誌への掲載の実施	A	・人権教育指導者研修会の開催(11月) ・人権教育に関する記事の広報誌への掲載(12月) ・人権写真展、リニューアルした公民館展示の実施(12月) ・人権講演会の開催(1月) ・各講座のオンデマンド配信	・講座を引き続き実施(講座・研修会はオンデマンド配信も実施) ・公民館まつり展示の実施 ・広報誌での周知	市民向けの人権啓発(講座・研修会、写真展・広報等)講座や研修会はオンデマンド配信を行う。
		経済戦略室	【企業向けの人権啓発】 企業人権セミナーの実施	年1回開催	A	企業人権セミナーを実施(10名参加)	A	企業人権セミナーの開催 年1回(14名)	年1回開催	A	企業人権セミナーの開催 年1回(6名)	年1回開催	年1回開催
		協働推進課	・男女共同参画情報紙「つばさ」、男女共同参画推進条例パンフレット、男女共同参画計画パンフレット、広報紙などを活用した周知・啓発 ・男女共同参画パネル展の実施 ・中学校3年生を対象とした性と人権に関する「デートDV防止講演会」の実施 ・男女共同参画推進の拠点である上戸田地域交流センター(あいバル)で、男女共同参画情報コーナーの充実及び男女共同参画の視点に立った講座、講演会、イベント等が定期的実施されるよう、指定管理者に働きかける。	・男女共同参画情報紙「つばさ」などにおいて、男女共同参画や性的マイノリティ等をテーマとした周知啓発や、男女共同参画パンフレットや広報などを活用。 ・メディアリテラシーをテーマとした男女共同参画パネル展の実施。 ・中学校3年生を対象とした性と人権に関する「デートDV防止講演会」を4校において実施した。 ・男女共同参画推進の拠点である上戸田地域交流センター(あいバル)で、男女共同参画情報コーナーの充実及び男女共同参画の視点に立った講座、講演会、イベント等が定期的実施されるよう、指定管理者への働きかけの実施。	B	・男女共同参画情報紙「つばさ」において、男女共同参画や性的マイノリティ等をテーマとした啓発を行うとともに、男女共同参画パンフレットを活用した啓発を行った。 ・男女共同参画の視点に立った表現をテーマとした男女共同参画パネル展を6月に実施した。 ・中学校3年生を対象とした性と人権に関する「デートDV防止講演会」を6校において実施した。 ・男女共同参画推進の拠点である上戸田地域交流センター(あいバル)で、男女共同参画情報コーナーの周知及び男女共同参画フォーラム等が計画的に実施されるよう、指定管理者への働きかけを行った。	B	・男女共同参画情報紙「つばさ」並びに男女共同参画パンフレット及びチラシ等を活用した啓発。 ・男女共同参画をテーマとしたパネル展の実施。 ・男女共同参画推進の拠点である上戸田地域交流センター(あいバル)で、男女共同参画情報コーナーでの周知及び男女共同参画フォーラム等が計画的に実施されるよう、指定管理者への働きかけ。 ・男女共同参画情報紙「つばさ」及び「審議会等における女性の参画状況」及び「男女共同参画の視点による言葉の表現」をテーマとした特集や、市内小学5年生を対象とした男女共同参画推進条例パンフレットの配布をとおして、男女共同参画に関する啓発を行った。また、第5次戸田市男女共同参画計画改定版の概要版を市内公共施設等に配架した。 ・福五郎の男女共同参画の現状と課題や、男女共同参画社会の目指すもの等に関するパネル展を6月に実施した。 ・男女共同参画推進の拠点である上戸田地域交流センター(あいバル)で、男女共同参画情報コーナーでの周知及び男女共同参画フォーラム等が計画的に実施されるよう、指定管理者への働きかけを行った。	・男女共同参画情報紙「つばさ」などにおいて、目標年度までに様々なテーマで周知啓発や、男女共同参画パンフレット・広報などを活用して、より効果的な啓発が実施されている。 ・目標年度までに様々なテーマで男女共同参画パネル展が実施されている。 ・男女共同参画推進の拠点である上戸田地域交流センター(あいバル)で、男女共同参画情報コーナーの充実及び男女共同参画の視点に立った講座、講演会、イベント等が定期的実施されている。				

基本方針2 人生100年時代を豊かに生きる ~ライフステージや多様な市民ニーズに応じた学びの提供~

施策	方策	担当課	取組内容	R3年度当初目標 (数値または状態)	R3年度 評価	R3年度取組概要	R4年度 評価	R4年度取組概要	R5年度取組予定	R5年度取組の 評価	R5年度の取組概要	R6年度の取組予定	R7年度最終目標 (数値または状態)
障がい者の 学びの 支援	文化スポーツ課		パラスポーツイベントの開催	開催数 1回	評価 不可	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	評価 不可	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	パラ種目を含めたスポーツフェスタの開催	A	12月9日にスポーツセンター第1競技場にてスポーツフェスタを開催(スポーツセンター主催) 体験種目:車いすラグビー、ボッチャ、陸上ボート、かけっこ、ラグビー、テニス 広報、各公共施設でのチラシ配架等により事業周知を積極的に実施し、また、スポーツフェスタ(スポーツセンター主催)での実施とすることで多くの参加者を募ることができた。	パラ種目を含めたスポーツフェスタの開催	開催数 1回以上
		障害福祉課	市内小中学校の児童生徒に対し、障害について共に考える参加型講座(出前講座またはオリジナル啓発動画の提供)を実施する。	実施	B	・市内小・中学校で出前講座開催 9校(参加者数1,175人) ・対面とZoomによるハイブリッド開催方式の導入 ・オリジナル啓発動画を作成し配信(Facebook、Twitter)した。	B	・市内小学校で出前講座開催4校(参加者数422人) ・内容は、対面による白杖体験。障害者の気持ちを考える場を設けた。	市内小中学校の児童生徒に対し、障害について共に考える参加型講座(出前講座またはオリジナル啓発動画の提供)を実施する。	B	・市内小学校で出前講座開催 7校(参加者数723人) ・内容は、対面による白杖体験。障害者の気持ちを考える場を設けた。	市内小中学校の児童生徒に対し、障害について共に考える参加型講座(出前講座またはオリジナル啓発動画の提供)を実施する。	実施
		文化スポーツ課	パラスポーツイベントの開催	開催数 1回	評価 不可	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	評価 不可	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	パラ種目を含めたスポーツフェスタの開催	B	12月9日にスポーツセンター第1競技場にてスポーツフェスタを開催(スポーツセンター主催) 体験種目:車いすラグビー、ボッチャ、陸上ボート、かけっこ、ラグビー、テニス	パラ種目を含めたスポーツフェスタの開催	開催数 1回以上
	障害福祉課	障害者対象事業、障害者スポーツ教室等、身体・精神障害者対象のサロン活動、心身障害児を対象に機能訓練等を目的とした体操・レクリエーション、余暇支援活動を実施する。	実施	B	・サロン活動 16回(参加人数107人) ・障害者対象事業 95回(参加人数790人) ・心身障害児事業 80回(参加延人数571人) ・相談事業 17回(参加人数94人) ・障害者スポーツ 6回(参加人数69人)	B	・サロン活動 16回(参加人数104人) ・障害者対象事業 121回(参加人数749人) ・心身障害児事業 114回(参加延人数849人) ・相談事業 24回(参加人数105人) ・障害者スポーツ 6回(参加人数53人)	B	障害者対象事業、障害者スポーツ教室等、身体・精神障害者対象のサロン活動、心身障害児を対象に機能訓練等を目的とした体操・レクリエーション、余暇支援活動を実施する。	B	・サロン活動 25回(参加人数145人) ・障害者対象事業 130回(参加人数794人) ・心身障害児事業 111回(参加延人数879人) ・相談事業 24回(参加人数89人) ・障害者スポーツ 6回(参加人数55人)	障害者対象事業、障害者スポーツ教室等、身体・精神障害者対象のサロン活動、心身障害児を対象に機能訓練等を目的とした体操・レクリエーション、余暇支援活動を実施する。	実施
	障害福祉課	障害者週間に合わせて、障がい者の文化芸術作品を市役所ロビーに展示する。	実施	B	・障害者週間(令和3年12月5日~10日)に合わせて、障がい者の文化芸術作品を市役所ロビーに展示 16点	B	・障害者週間(令和4年12月3日~9日)に合わせて、障がい者の文化芸術作品を市役所ロビーに展示 22点	B	障害者週間に合わせて、障がい者アート展を実施する。	A	・障害者週間(令和5年12月3日~8日)に合わせて、障がい者の文化芸術作品を市役所立郷土博物館3階ロビー及び市役所ロビーに展示 109点	障害者週間に合わせて、障がい者アート展を実施する。	実施
	障害福祉課	手話通訳者派遣事業、要約筆記者派遣事業等の意思疎通支援事業を実施する。	実施	B	・点訳ボランティア入門講座の開催 受講者:4名 ・手話講習会(入門)の開催 受講者:11名、修了者:9名 ・手話講習会(初級)の開催 受講者:6名、修了者:3名 ・手話通訳者養成講習会(手話通訳)の開催 受講者:8名、修了者:4名 ・手話通訳者養成講習会(手話通訳)の開催 受講者:5名、修了者:4名 ・要約筆記ボランティア入門講習会の開催 受講者:6名 ・手話通訳者派遣事業の実施 派遣件数:767件 派遣人数(延べ):891名	B	・手話講習会(入門)の開催 受講者:13名、修了者:9名 ・手話講習会(初級)の開催 受講者:7名、修了者:7名 ・手話通訳者養成講習会(手話通訳)の開催 受講者:2名、修了者:0名 ・手話通訳者養成講習会(手話通訳)の開催 受講者:3名、修了者:3名 ・手話通訳者派遣事業の実施 派遣件数:517件 派遣人数(延べ):660名	B	手話通訳者派遣事業、要約筆記者派遣事業等の意思疎通支援事業を実施する。	B	・手話講習会(入門)の開催 受講者:13名、修了者:12名 ・手話講習会(初級)の開催 受講者:12名、修了者:10名 ・手話通訳者養成講習会(手話通訳)の開催 受講者:3名、修了者:3名 ・手話通訳者養成講習会(手話通訳)の開催 受講者:6名、修了者:5名 ・手話通訳者派遣事業の実施 派遣件数:573件 派遣人数(延べ):745名	手話通訳者派遣事業、要約筆記者派遣事業等の意思疎通支援事業を実施する。	実施
	生涯学習課(公民館)	人権問題を取り扱った講座の開催	実施	B	「寿大学」「宝珠大学」「壮健大学」などシルバー講座の中で人権教育講座を開催。	B	・人権講座回数 3回(参加者数 53人)	B	・人権講座を実施する	A	・多文化共生講座回数 12回(参加者数 148人) 文化や食、言語、学習から多文化共生を学ぶ新たな仕組みを構築した。	・人権講座を実施する	実施
	生涯学習課(図書館)	電子図書館(小規模)(実施2021年1月8日~) 電子図書館(大規模)	タイトル数 R2年度約7,500 約7,650 調査研究	A	タイトル数 R3年度8,892冊 電子図書館サービス導入市の事例等の確認	A	タイトル数 R4年度9,999冊 (読み放題バック除く) 児童向け読み放題バックを導入した。	A	タイトル数約10,000冊を維持(利用回数制限等により、電子図書書の増減はあるが、大幅な減冊がないようにしていきたい。)継続して実施	A	タイトル数 R5年度 10,928冊 児童向け読み放題バックの継続導入	タイトル数10,928冊 11,500冊 継続して実施	タイトル数約8,250 サービスの更なる充実

基本方針2 人生100年時代を豊かに生きる ~ライフステージや多様な市民ニーズに応じた学びの提供~

施策	方策	担当課	取組内容	R3年度当初目標 (数値または状態)	R3年度 評価	R3年度取組概要	R4年度 評価	R4年度取組概要	R5年度取組予定	R5年度取組の 評価	R5年度の取組概要	R6年度の取組予定	R7年度最終目標 (数値または状態)
性別や国籍を問わない学びの支援		生涯学習課(図書館)	バリアフリーサービスの実施	継続して実施	B	ホームページ等で周知を行ったが、サービス利用の申込がなかった。	A	バリアフリーコーナーを設置した。また、市広報およびホームページで周知を行った。録音資料59件貸出。	継続して実施	A	令和6年度は録音資料を63件貸出すとともに、1階閲覧室内のバリアフリーコーナーを移動して書架を拡大した。また、感謝祭ではバリアフリー映画会やバリアフリーサービス展示会・マルチメディアデジ体験会を開催した。	継続して実施。	継続して実施
		協働推進課	男女共同参画情報紙「つばさ」、男女共同参画推進条例パンフレット、男女共同参画計画パンフレット、広報紙を活用した情報の周知・啓発	・男女共同参画情報紙「つばさ」などにおいて、性的マイノリティをテーマとした周知・啓発の実施。 また、周知・啓発に伴い、パンフレットや広報などの活用。 ・「申請書等における性別欄の見直し方針」に基づき、条例等の性別欄の見直しを実施する。	B	・男女共同参画情報紙「つばさ」などにおいて、性的マイノリティをテーマとした周知・啓発を行った。また、周知・啓発に伴い、パンフレットやチラシなどを活用した。 ・男女共同参画パネルにおける啓発を行った。 ・「申請書等における性別欄の見直し方針」に基づき、規則等の性別欄の見直しを実施	B	・男女共同参画情報紙「つばさ」において、「アンコンシャス・バイアス」や「戸田市パートナーシップ・ファミリーシップ届出制度」の特集を組むなど、男女共同参画や性的マイノリティ等をテーマとした啓発を行った。また、周知・啓発に伴い、パンフレットやチラシなどを活用した。 ・性的多様性をテーマとした男女共同参画パネルによる啓発を行った。 ・「申請書等における性別欄の見直し方針」に基づき、見直しを実施した。	・男女共同参画情報紙「つばさ」などにおいて、性的マイノリティをテーマとした周知・啓発の実施。 ・男女共同参画パネルにおける周知啓発の実施 ・「申請書等における性別欄の見直し方針」に基づき、見直しを周知。	B	・男女共同参画情報紙「つばさ」における「審議会における女性の参画状況」や「男女共同参画の視点による言葉の表現」をテーマとした特集や、市内小学5年生を対象とした男女共同参画推進条例パンフレットの配布をとおして、男女共同参画に関する啓発を行った。また、第五次戸田市男女共同参画計画改定版の概要版を、埼玉県男女共同参画の現状と課題や、男女共同参画社会の目指すもの等をテーマとした男女共同参画パネルによる啓発を行った。 ・「申請書等における性別欄の見直し方針」の一部改正を行い、方針に沿った対応を行うように周知した。	・男女共同参画情報紙「つばさ」などにおいて、男女共同参画に関することをテーマとした周知・啓発の実施。 ・男女共同参画パネルにおける周知啓発の実施。 ・「申請書等における性別欄の見直し方針」に基づき、見直しを周知。	・男女共同参画情報紙「つばさ」などにおいて、目標年度までに様々なテーマで周知啓発や、男女共同参画パンフレット・広報などを活用して、より効果的な啓発が実施されている。 ・「申請書等における性別欄の見直し方針」に基づき、各種様式の性別欄の見直しが完了している。
		協働推進課	【多文化共生の推進】(公財)戸田市国際交流協会と連携して、市内在住外国人への支援を行い、多文化共生社会を構築するための事業を展開していく。日本語教室や様々なイベント・講座等を通じて、在住外国人と地域住民の交流促進や学びの機会を提供できるよう取り組んでいく。	多文化共生に係る事業の実施回数(85回) ・国際交流茶会:1回 ・日本語スピーチコンテスト:1回 ・日本語教室:60回 ・ホームステイ紹介:10回 ・国際交流推進活動員派遣:10回 ・外国人防災訓練:1回 ・多文化交流ひろば:2回	B	新型コロナウイルスの影響により実施できた回数は55回であった。	B	多文化共生に係る事業の実施回数(79回) ・国際交流茶会:1回 ・日本語スピーチコンテスト:1回 ・日本語教室:53回 ・ホームステイ紹介:2回 ・国際交流推進活動員派遣:1回 ・外国人防災訓練:1回 ・多文化交流ひろば:1回 ・ことばのひろば:19回	多文化共生に係る事業の実施回数(105回) ・国際交流茶会:1回 ・日本語スピーチコンテスト:1回 ・日本語教室:60回 ・ホームステイ紹介:10回 ・国際交流推進活動員派遣:10回 ・外国人防災訓練:1回 ・多文化交流ひろば:2回 ・ことばのひろば:20回	C	多文化共生に係る事業の実施回数(88回) ・国際交流茶会:1回 ・日本語スピーチコンテスト:1回 ・日本語教室:58回 ・ホームステイ紹介:3回 ・国際交流推進活動員派遣:0回 ・外国人防災訓練:1回 ・多文化交流ひろば:1回 ・ことばのひろば:23回	多文化共生に係る事業の実施回数(105回) ・国際交流茶会:1回 ・日本語スピーチコンテスト:1回 ・日本語教室:60回 ・ホームステイ紹介:10回 ・国際交流推進活動員派遣:10回 ・外国人防災訓練:1回 ・多文化交流ひろば:2回 ・ことばのひろば:20回	多文化共生に係る事業の実施回数(105回) ・国際交流茶会:1回 ・日本語スピーチコンテスト:1回 ・日本語教室:60回 ・ホームステイ紹介:10回 ・国際交流推進活動員派遣:10回 ・外国人防災訓練:1回 ・多文化交流ひろば:2回 ・ことばのひろば:20回
	生涯学習課(図書館)	図書館での外国語資料の充実	継続して実施	A	雑誌を含む外国語資料52冊を購入した。	A	上戸田分館に多文化コーナーを設置した。日本語を学ぶ外国人のための日本語学習教材および外国語資料58冊、雑誌、新聞を購入した。	継続して実施	A	中央図書館ではR5年度に外国語資料を86冊(新聞・雑誌含む)購入した。	継続して実施	継続して実施	
「命を守る」学びの推進		危機管理防災課	戸田市ハザードブックを活用した、まちづくり出前講座の実施	戸田市ハザードブックを活用したまちづくり出前講座を通じ、各地域、団体における防災意識の向上を図る。	B	戸田市ハザードブックを活用したまちづくり出前講座を7回(参加者総数477人)実施した。	B	戸田市ハザードブックを活用したまちづくり出前講座を7回(参加者総数275人)実施した。 「マイ・タイムライン作成講座」のメニューの中身を改良し、AR浸水体験を取り入れる。	戸田市ハザードブックを活用したまちづくり出前講座を適宜実施する。 「マイ・タイムライン作成講座」のメニューの中身を改良し、AR浸水体験を取り入れる。	B	戸田市ハザードブックを活用したまちづくり出前講座を7回(参加者総数202人)実施した。	戸田市ハザードブックを活用したまちづくり出前講座を適宜実施する。また、まちづくり出前講座受講者の要望に応じてAR浸水体験を実施する。	戸田市ハザードブックを活用したまちづくり出前講座を通じ、各地域、団体における防災意識の向上を図る。
		都市交通課	市内の保育園・幼稚園・学校、高齢者団体や町会など地域団体からの要望に基づき、年齢の特性に配慮した出前講座を実施する。また、スクエアストリート教育技法を用いた一般向け自転車安全教室を実施する。	参加人数のさらなる増加を図る。	B	・保育幼稚園18園、小学校8校、高等学校1校 交通安全教室 参加者3,415人 ・交通安全出前講座 2回 ・一般市民を対象にスクエア・ストリート技法による自転車交通安全教育指導は、新型コロナウイルスの影響により、実施できなかったため、庁舎東側ロビーにて11/1~11/5の期間、交通安全に関する掲示を行った。(364人が来庁)	A	・交通安全教室 保育幼稚園23園、小学校6校、高等学校1校 参加者2,027人 ・交通安全出前講座 2回 参加者24名 ・中学校向け自転車交通安全教室開催 5校 参加者2,366人 ・一般向け自転車交通安全教室開催 参加者314人	・交通安全教室開催 交通安全出前講座開催 一般向け自転車交通安全教室開催	A	・交通安全教室 保育園22園、小学校11校、高等学校1校 参加者2,589人 ・交通安全出前講座 5回 参加者39名 ・一般向け自転車交通安全教室開催 参加者110人	・交通安全教室開催 交通安全出前講座開催 一般向け自転車交通安全教室開催	参加人数のさらなる増加を図る。
		くらし安心課	園児・児童・生徒・保護者・先生・高齢者等を対象に、防犯対策(自転車盗、振り込め詐欺被害防止)・不審者対策等に関する講座を実施する。	若年層(10~30代)を中心に、受講者の増加を図る。	B	・防犯教室 1回(参加人数 62人)	B	・防犯教室 1回(参加人数 22人)	防犯教室の開催	B	・防犯教室 1回(参加人数 22人)	防犯教室の開催	各世代がそれぞれの特性や直近の犯罪情勢に合わせた講座を受講できている。
		福祉保健センター	【感染症等の周知・啓発】 ・感染症の情報把握、新感染症の対策等 ・定期予防接種の実施 ・予防接種に関する相談及び啓発業務	感染症について、市民が予防行動や適切な対応ができるようにすること。感染症の発生及びまん延を予防し、個人の発病や重症化を防止すること。	B	保健ガイドの作成・配布による周知 ホームページ・広報(毎月掲載)での周知 はがきによる各種予防接種の勧奨	A	抗原検査キットの配付などを実施し、新型コロナウイルス感染症に関するまん延防止に努めた。HP・保健ガイド等により予防接種に関する周知啓発を行った。	感染症について、市民が予防行動や適切な対応ができるようにすること。感染症の発生及びまん延を予防し、個人の発病や重症化を防止すること。	B	HP・保健ガイド・勧奨通知により予防接種に関する周知・啓発を行った。手洗いチェッカーの貸出しを行い、感染症予防における手洗いの重要性の周知を行った。	・HP・健康保健ガイド、勧奨通知での予防接種の周知、啓発 ・手洗いチェッカーの貸出し ・健康福祉の杜まつりでの手洗い啓発ブースの設置	感染症について、市民が予防行動や適切な対応ができるようにすること。感染症の発生及びまん延を予防し、個人の発病や重症化を防止すること。

基本方針2 人生100年時代を豊かに生きる ~ライフステージや多様な市民ニーズに応じた学びの提供~

施策	方策	担当課	取組内容	R3年度当初目標 (数値または状態)	R3年度 評価	R3年度取組概要	R4年度 評価	R4年度取組概要	R5年度取組予定	R5年度取組の 評価	R5年度の取組概要	R6年度の取組予定	R7年度最終目標 (数値または状態)
戸田市民 大学の充 実	生涯学習課	消防本部予防課	市民防災教室の利用により、市民の防災に関する知識を高める。	市民防災教室の参加者数：2,000人	評価 不可	新型コロナウイルス感染拡大に伴い事業の実施無し	B	市民防災教室利用を伴う庁舎見学を実施（12回、参加者数合計608人） 新型コロナウイルス感染防止対策により参加可能人数を制限し、団体利用のみ実施可能としたため、コロナ禍以前の利用回数・人数には至らなかったが、事業は通年実施した。	市民防災教室の参加者数：1500人	C	市民防災教室利用を伴う庁舎見学を実施（12回、参加者数合計854人） 新型コロナウイルスが落ち着き、参加可能人数の制限を解除し実施したがコロナ禍以前の利用回数・人数には至らなかった。 事業は通年実施した。	市民防災教室の参加者数：1,000人	市民防災教室の参加者数：2,500人
		生涯学習課（彩湖）	彩湖を管理する荒川上流河川事務所と連携してツアーを実施し、彩湖の自然と役割について体験して学ぶ	年2回実施	C	年1回実施	B	令和4年5月実施「彩湖周辺の野鳥観察 保全ゾーン編」18人参加 令和4年10月実施「秋の保全ゾーンを歩こう」13人参加	年1回実施予定	A	令和5年5月実施「彩湖周辺の野鳥観察@カヌー編」8人参加 令和5年10月実施「彩湖周辺の野鳥観察@カヌー編」7人参加	年1回実施予定	年1回以上実施
	生涯学習課	戸田市民大学認定講座の周知	広報・SNS・チラシ・ポスター・駅構内ラック・貸出本予約完了メールで周知を行う。講座の内容に応じて関係課にも周知を依頼する	広報・SNS・チラシ・ポスター・駅構内ラックで講座の周知を行った。貸出本予約完了メールで周知を行うための準備を図書館と調整して進めた。講座の内容に応じて関係課にも周知を依頼した。また、メールマガジンによる情報発信を試験的に開始した。	A	B	広報・SNS・チラシ・ポスター・駅構内ラックで講座の周知を行った。貸出本予約完了メールで周知を行うための準備を図書館と調整して進めた。講座の内容に応じて関係課にも周知を依頼した。また、メールマガジンによる情報発信を行った。	広報・SNS・チラシ・ポスター・駅構内ラック・メールマガジン・貸出本予約完了メールで周知を行う。講座の内容に応じて関係課にも周知を依頼する	A	広報・SNS・チラシ・ポスター・駅構内ラックで講座の周知を行った。図書館の貸出本予約完了メールで市民大学の案内を実施した。講座の内容に応じて関係課にも周知を依頼した。 R5年度からメールマガジンに代え、LINEでのお知らせを導入した。	引き続き、広報・SNS・チラシ・ポスター・駅構内ラック・貸出本予約完了メールで周知を行う。講座の内容に応じて関係課に周知を依頼する。	広報・SNS・チラシ・ポスター・駅構内ラック・貸出本予約完了メールで周知を行う。講座の内容に応じて関係課にも周知を依頼する	
	生涯学習課	講座企画運営	現代的・社会的課題や市民ニーズに応じた市民大学講座の実施（現代課題講座・市民企画講座等）	3回実施。現代課題講座「気候変動（地球温暖化）の実態と影響」「人生100年時代の自分らしいキャリアを考える」の実施 市民企画講座「子育てのためのマインドフルネス」の実施	A	A	4回実施。市民企画講座「身近に学ぶSDGs」「家族で取り組む産後ケア」「戸田市内の専門医に聞く～みんなで正しく知ろう乳がんのこと～」、特別講座「現在のウクライナ情勢の根源にあるもの」を実施。	現代課題講座や市民ニーズに応じた市民大学講座の実施（現代課題講座・市民企画講座等）	A	現代課題講座や市民が市民ニーズに応じた講座を4回実施。現代課題講座（メディアリテラシー）1回、市民企画講座2回（介護、やさしい日本語）を実施。「とた学」では介護施設の見学を実施。	現代課題講座や市民ニーズに応じた市民大学講座の実施（現代課題講座・市民企画講座等）	現代課題講座や市民ニーズに応じた市民大学講座の実施（現代課題講座・市民企画講座等）	
現代的・社会的課題や市民ニーズに応じた学びの充実	環境課	環境課	年4回（6月・9月・12月・3月）、各町会・自治会による市内一斉清掃活動を行い、捨つ行為により、ごみを捨てない心を育てる。	530運動の参加人数 17,000人	B	・530運動の参加人数 4,559人（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、年4回の予定のうち、1回開催）	B	・530運動の参加人数 15,134人	・年4回（6月・9月・12月・3月）各町会・自治会による市内一斉清掃活動を行い、捨つ行為により、ごみを捨てない心を育てる。	B	・530運動の参加人数 15,745人	・年4回（6月・9月・12月・3月）各町会・自治会による市内一斉清掃活動を行い、捨つ行為により、ごみを捨てない心を育てる。	530運動の参加人数 17,500人
		環境課	リサイクル素材を用いた屋上緑化施設「フェルトガーデン戸田」について、市民、学校、他自治体等の視察受け入れなど、環境学習の場としての活用を促進する。	視察受け入れ人数 150人	C	・視察受け入れ人数 0人（コロナ禍において、学校等からの申し込みなし）	C	・視察受け入れ人数 0人（コロナ禍において、学校等からの申し込みなし）	・リサイクル素材を用いた屋上緑化施設「フェルトガーデン戸田」の視察受け入れ、環境学習の場としての活用	C	・視察受け入れ人数 0人（学校等からの申し込みなし）	・リサイクル素材を用いた屋上緑化施設「フェルトガーデン戸田」の視察受け入れ、環境学習の場としての活用	視察受け入れ人数 170人
	環境課	多くの市民に環境問題への意識啓発を図るため、環境月間のパネル展示、とた環境フェアなどのイベントを実施する。	とた環境フェアの参加者数 280人	B	・環境月間のパネル展示（6月に開催） ・とた環境フェア：パネル展示及び市公式サイト内でのインターネット配信 イベント開催の代替措置 アンケート実施に係る御礼品配布数：589個	B	・3年ぶりに集客イベントを開催し、248人の市民等に参加していただき、環境問題への意識啓発を行うことができた。	・より多くの方に参加していただけるように、開催内容を検討し、今年度も集客イベントを実施する予定。	A	・348人の市民等に参加していただき、環境問題への意識啓発を行うことができた。	・より多くの方に参加していただけるように、開催内容を検討し、今年度も集客イベントを実施する予定。	とた環境フェアの参加者数 300人	
	環境課	市民の環境問題への更なる意識啓発や知識の深化を図るため、出前講座を実施する。	出前講座実施回数 10回	C	出前講座実施回数 1回	C	・出前講座実施回数 1回	・出前講座実施	B	・出前講座実施回数 6回（まちづくり出前講座3回 環境出前講座3回）	・出前講座実施	出前講座実施回数 13回	
環境教育の推進	福祉保健センター	福祉保健センター	食品ロスに関する啓発	食品ロスの現状を周知し、食品ロスに関心をもってもらう。	B	健康情報ステーションで食品ロスについて掲示	A	環境課が作成した「食品ロス」のチラシを福祉保健センター内にある健康情報ステーションに設置し配架した。	乳幼児健診等で福祉保健センターに来所される市民に向け、食品ロスの周知を図る。	A	健康福祉の杜まつりでパネルを展示し、チラシを配布した。	健康福祉の杜まつり等で福祉保健センターに来所する市民に向け、食品ロスの周知を図る。	食品ロス削減に関する関心が高まっている。

基本方針2 人生100年時代を豊かに生きる ~ライフステージや多様な市民ニーズに応じた学びの提供~

施策	方策	担当課	取組内容	R3年度当初目標 (数値または状態)	R3年度 評価	R3年度取組概要	R4年度 評価	R4年度取組概要	R5年度取組予定	R5年度取組の 評価	R5年度の取組概要	R6年度の取組予定	R7年度最終目標 (数値または状態)
		みどり公園課	・市内の小学3～4年生を対象とし、戸田ヶ原自然再生キャラクター「とだみちゃん」を活用して「戸田ヶ原」を学ぶ「とだみちゃん出張授業」を実施 ・戸田ヶ原サポーター（市民ボランティア）の協力を得て、戸田ヶ原自然再生エリアの保全管理作業を実施する。 ・市内の小中学生を対象とした身近な生き物観察活動を実施し、観察結果を集約して市ホームページに公開する。	・とだみちゃん出張授業実施回数 1回 ・戸田ヶ原サポーター新規登録者数 5人 ・生き物マップのウェブ公開を継続して4パターン行う。（平成24年度秋、平成26年度夏、平成30年度秋、令和元年度夏）	C	・とだみちゃん出張授業実施回数 2回 ・戸田ヶ原サポーター新規登録者数 2人 ・生き物マップのウェブ公開を継続して4パターン行った。（平成24年度秋、平成26年度夏、平成30年度秋、令和元年度夏）	C	・とだみちゃん出張授業実施回数 1回 ・戸田ヶ原サポーター新規登録者数 2人 ・生き物マップのウェブ公開を継続して4パターン行った。（平成24年度秋、平成26年度夏、平成30年度秋、令和元年度夏） また、新たな生きものマップとしてカワセミマップを作成しウェブ公開を行う。	B	・とだみちゃん出張授業実施回数 1回 ・市HPより戸田ヶ原サポーターの登録可能な仕様に変更した。 ・戸田ヶ原サポーター新規登録者数 5人（登録者数合計124人） ・生き物マップのウェブ公開を継続して4パターン行った。（平成24年度秋、平成26年度夏、平成30年度秋、令和元年度夏）また、新たな生きものマップとしてカワセミマップを作成しウェブ公開を行った。	・とだみちゃん出張授業実施回数 1回 ・戸田ヶ原サポーター新規登録者数 5回 ・戸田ヶ原サポーター人数合計 150人 ・生き物マップウェブ公開 5パターン		・とだみちゃん出張授業実施回数（累計） 5回 ・戸田ヶ原サポーター人数合計 150人 ・生き物マップウェブ公開 5パターン
		生涯学習課（彩湖）	彩湖を管理する荒川上流河川事務所と連携してツアーを実施し、彩湖の自然と役割について体験して学ぶ	年2回実施	C	・年1回実施	B	令和4年5月実施「彩湖周辺の野鳥観察 保全ゾーン編」 18人参加 令和4年10月実施「秋の保全ゾーンを歩こう」13人参加	年1回実施予定	A	令和5年5月実施「彩湖周辺の野鳥観察@カヌー編」8人参加 令和5年10月実施「彩湖周辺の野鳥観察@カヌー編」7人参加	年1回実施予定	年1回実施
健康寿命の延伸につながる学びの支援		福祉保健センター	【健康教育の充実】 生活習慣の改善に関する啓発	3,000人 健康増進事業に参加した人の人数	A	埼玉県コバトン健康マイレージ事業において戸田市大抽選会を実施し、例年よりも多くの賞品を用意したことと18歳以上の全世帯主に個別通知を実施したことなどで新規参加者が6,633人となり、大幅な増加となった。オーラルフレイルとフレイル対策においては出前講座・依頼健康教育を実施した。 あいバルにおいて健康情報ステーション健康講座を官民連携業者と実施した。 生活習慣改善教室においては、会場実施とオンデマンド配信を実施したことと例年より参加者が多くなった。 新たな事業として、あおぞらヨガ教室を官民連携業者と後谷公園で実施した。 令和4年度健康増進事業延べ参加者数 3,960人	A	埼玉県コバトン健康マイレージ事業においてとだウエルネスマイレージ抽選会を実施し、新規参加者が1,096人となった。 オーラルフレイルとフレイル対策においては出前講座・依頼健康教育の実施 各種出前講座・講座の実施 受動喫煙対策の実施	A	とだウエルネスマイレージ事業においてとだウエルネスマイレージ抽選会を実施し、新規参加者が572人となった。 オーラルフレイルとフレイル対策においては出前講座・依頼健康教育を実施した。 あいバルにおいて健康情報ステーション健康講座を官民連携業者と実施した。 生活習慣改善教室においては、会場実施とオンデマンド配信を実施した。 あいバルにてがん講演会を新たに実施し働く世代に啓発することができた。 令和5年度健康増進事業延べ参加者 2,251人（マイレージ新規参加者含む）	3,500人 健康増進事業に参加した人の人数		
		健康長寿課	・老人クラブ活動事業（シルバースポーツ大会、ゲートボール大会、グラウンドゴルフ大会、演芸大会、作品展等） ・シルバー人材センターなどを通じた就業機会や清掃活動、防犯パトロール等のボランティア活動など高齢者の社会参加の促進	実施	B	・老人クラブ活動事業については、コロナ禍により大規模な行事が中止になった。各単位老人クラブの活動については、感染防止に留意しながら実施した。 ・シルバー人材センターの事業もコロナ禍の影響を受けたが、可能な範囲で就労、ボランティア・サークル活動等を行った。	B	・老人クラブ活動事業については、中止していた行事（シルバースポーツ大会、グラウンドゴルフ大会、演芸大会、作品展など）を実施予定。 ・シルバー人材センターについては、引き続き同程度規模の活動を継続させる予定。	B	・老人クラブ活動事業においては、4年ぶりにシルバースポーツ大会、グラウンドゴルフ大会、演芸大会、作品展など、予定していたものをすべて実施することが出来た。コロナ前と比べて参加人数の少ない行事も一部あった。 ・シルバー人材センターでは前年度同程度規模の就労活動が実施された。シニア向けスマホ教室など新しいサークル活動も増えた。	推進		
消費者教育の推進		くらし安心課	子どもから高齢者までの全世代を対象に、消費者被害未然防止対策（ネットトラブルや悪質商法等）・金銭教育に関する講座を実施する。	参加人数のさらなる増加を図る。	B	消費生活出前講座 4回	B	消費生活出前講座 3回 (参加人数 計48人)	出前講座の開催	B	消費生活出前講座 2回 (参加人数 計40人)	出前講座の開催	参加人数のさらなる増加を図る。
SDGsの普及啓発		共創企画課	広報紙やHP等による周知・啓発活動	1回以上	A	8回	A	広報に特集ページを2回掲載。その他、市役所2階ロビー及びイオンモール北戸田にてパネル展示を実施	広報に特集ページの掲載を予定しているほか、パネル展示や啓発イベントを実施予定。	A	広報への特集ページの掲載のほか、SDGsリアル謎解きイベントの開催やパネル展示を実施した。	1回以上	
		共創企画課	・公民連携に係る相談・調整 ・公民連携事業の実施	・（公民連携に係る相談・調整件数）10件 ・（公民連携事業の実施件数）5件	A	・（公民連携に係る相談・調整件数）31件 ・（公民連携事業の実施件数）23件	A	・（公民連携に係る相談・調整件数）45件 ・（公民連携事業の実施件数）37件	・（公民連携に係る相談・調整件数）30件 ・（公民連携事業の実施件数）20件	A	・（公民連携に係る相談・調整件数）45件 ・（公民連携事業の実施件数）24件	・（公民連携に係る相談・調整件数）30件 ・（公民連携事業の実施件数）20件	・（公民連携に係る相談・調整件数）18件 ・（公民連携事業の実施件数）9件
		生涯学習課（図書館）	図書のテーマ展示	導入(実施)	A	令和3年度は10月にSDGsに関する本のテーマ展示を実施した。	A	7～8月に図書館で廃棄する紙筒を使った工作に関する展示を行った。また、10月にSDGsに関する本のテーマ展示を実施した。	継続して実施	A	7～8月に図書館で廃棄する紙筒を使った工作に関する展示を行った。また、12月にSDGsに関する本のテーマ展示を実施した。	継続して実施	継続して実施

基本方針2 人生100年時代を豊かに生きる ~ライフステージや多様な市民ニーズに応じた学びの提供~

施策	方策	担当課	取組内容	R3年度当初目標 (数値または状態)	R3年度 評価	R3年度取組概要	R4年度 評価	R4年度取組概要	R5年度取組予定	R5年度取組の 評価	R5年度の取組概要	R6年度の取組予定	R7年度最終目標 (数値または状態)
図書・読書活動の推進	生涯学習課(図書館)		タイトル数 R2年度約7,500 約7,650	タイトル数約8,250	A	タイトル数 R3年度8,892冊	A	タイトル数 R4年度9,999冊(読み放題バック除く)	タイトル数 R4年度9,999冊10,050冊(利用回数制限等により、電子図書の増減はあるが、大幅な減冊がないようにしていきたい。	A	タイトル数 R5年度10,928冊(読み放題バック除く) 継続して実施	タイトル数10,928冊 11,500冊 継続して実施	継続して実施
	生涯学習課(図書館)		図書館サービス充実の調査研究	導入(実施)	B	オーディオブックなど業者から説明を受け、実際に視聴した。	A	児童向け読み放題バックを導入した。	継続して実施	A	児童向け読み放題バックを昨年度に引き続き購入した。	児童向け読み放題バックを購入を継続する。	継続して実施
	生涯学習課(図書館)		子どもの読書活動の推進(子どもの読書活動推進計画)	継続して実施	A	第3次子どもの読書活動推進計画に則って関係課でそれぞれ事業を行い推進委員会(書面)を実施	A	第3次子どもの読書活動推進計画に則って関係課でそれぞれ事業を行い推進委員会を実施した	継続して実施	A	第3次子どもの読書活動推進計画に則って関係課でそれぞれ事業を行い推進委員会を実施した	継続して実施	継続して実施
	生涯学習課(図書館)		ボランティア養成講座	継続して実施	A	令和3年度は初心者向け3回、経験者向け3回 合計6回開催した	A	令和4年度は市民大学認定講座として初心者向け公開講座を4回、経験者向け非公開講座を2回の計6回開催した。	継続して実施	A	令和5年度は市民大学認定講座として初心者向け公開講座を4回、経験者向け非公開講座を2回の計6回開催した。	継続して実施	継続して実施
	生涯学習課(図書館)		地域および行政資料の収集・保存と情報提供	継続して実施	A	令和3年度においても地域および行政資料の収集・保存と情報提供を実施した。	A	令和4年度においても地域および行政資料の収集・保存と情報提供を実施した。	継続して実施	A	令和5年度においても地域および行政資料の収集・保存と情報提供を実施した。	継続して実施	継続して実施
	生涯学習課(図書館)		施設のバリアフリー推進と図書館内外の環境整備	継続して実施	A	耳マークの掲示やリーディングトラッカーの貸し出しなど施設のバリアフリー推進と図書館内外の環境整備に努めた。	A	館内に設置したサイネージで緊急情報を表示できるようにした。また、駐車場の浸水対策など施設のバリアフリー推進と図書館内外の環境整備に努めた。	継続して実施	A	館内に設置したサイネージで緊急情報を表示できるようにした。また、入口段差の解消など施設のバリアフリー推進と図書館内外の環境整備に努めた。	継続して実施	継続して実施
	生涯学習課(図書館)		地域の団体、関係機関等と連携・協力したイベント開催	継続して実施	A	おはなし会によるボランティア活動など多世代による世代間交流を実施した。	A	新規事業として商店会連合会によるキッチンカーの出展や、特別支援学校によるパンの販売を行った。そのほかボランティアによるおはなし会などを実施した。	継続して実施	A	40周年としょかん感謝祭にて戸田市吹奏楽団、おはなしボランティア、戸田市朗読の会、戸田市身体障がい者福祉会等と連携してイベントを開催した。 また、ロビーでは地元小中学校の児童・生徒の作品やクラブ活動の発表資料を展示した。	継続して実施	継続して実施
郷土博物館活動の推進	生涯学習課(博物館)		郷土博物館のホームページ上にデジタルミュージアムを開設する	資料のデジタル化の推進	B	収蔵品管理システムによる収蔵資料の管理、公開	B	デジタルミュージアム(収蔵品管理システム)の整理を行った。	継続して実施	B	デジタルミュージアム(収蔵品管理システム)に係る整理を行った。	継続して実施	ホームページ上にデジタルミュージアムを開設
	生涯学習課(博物館)		特別展・企画展の開催	年2回	A	第27回企画展「1964～戸田に聖火が灯る～」文化財ロビー展「戸田市無形文化財写真展」秋季ロビー展「クローズアップ彩湖 植物編」第20回昔のくらし展「はっけん昔のくらし」	A	6月、9月及び1月に企画展を3回行った。	10月及び1月に企画展を実施	A	近隣学校連携展示「埼玉県立戸田翔陽高等学校写真部作品展2023」開催、入場者数504人 近隣学校連携展示「インスタレーション・アート」実施 第29回企画展「戸田市所蔵絵画展」開催、入場者数840人 昔のくらし展「はっけん昔のくらし」開催、入場者数2,598人	7月に近隣学校連携展示、8月～9月に第30回企画展、10月～11月に第31回企画展、1月～3月に昔のくらし展を開催	年3回
	生涯学習課(博物館)		小学3年生、小学6年生の郷土博物館授業の実施	小学3・6年生社会科の郷土博物館授業を実施する。	B	小学6年生博物館授(11月)、小学3年生博物館授業(2月) いずれもオンライン開催	B	11月及び2月にオンライン授業を実施。	5月から6月に小学6年生博物館授業、1月から2月に小学3年生博物館授業を対面形式で実施	A	5月～6月に小学6年生博物館授業を来館で実施、12校1,243人参加 1月～2月に小学3年生博物館授業を来館で実施、12校1,174人参加	継続して実施	小学3・6年生社会科の郷土博物館授業を実施する。
	生涯学習課(博物館)		ミュージアムショップ開設、オリジナルグッズ販売に向けた調査研究、グッズの企画	他の施設でのオリジナルグッズの販売状況の調査、オリジナルグッズの企画	B	実施に向けた調査	B	生涯学習課ゆるキャラのブックカバー及び古文書を組み合わせたブックカバーを作成し、無料で配布。	博物館キャラクター等を使用したグッズを作成	B	生涯学習課文化財ゆるキャラと館の認知度向上のため、「ミュージアム キャラクター アワード」への参加を行った。	館キャラクター等を使用した開館40周年記念グッズを作成	オリジナルグッズの作成
	生涯学習課(博物館)		資料の収蔵スペースの確保	収蔵スペース拡充のための調査・研究	A	史料の整理・保存(作業点数)計46,969点	A	資料の収蔵スペースの確保の作業を行った。	継続して実施	A	資料の収蔵スペース確保のため、整理作業等を継続して行った。	継続して実施	収蔵スペースの確保
	生涯学習課(博物館)		市の歴史、民俗等に関する調査・研究	調査・研究のテーマ設定、計画の作成	A	研究紀要第30号の刊行、寄贈資料調査の実施、展示資料調査の実施	A	寄贈資料を中心に、歴史資料や民俗の状況を調査	継続して実施	A	『研究紀要』第32号の刊行、『戸田市史調査報告書』第24集の刊行、寄贈資料を中心に歴史・民俗資料等の調査を実施	継続して実施	戸田市史以後の市の歴史資料、民俗の状況を調査する。

基本方針2 人生100年時代を豊かに生きる ~ライフステージや多様な市民ニーズに応じた学びの提供~

施策	方策	担当課	取組内容	R3年度当初目標 (数値または状態)	R3年度 評価	R3年度取組概要	R4年度 評価	R4年度取組概要	R5年度取組予定	R5年度取組の 評価	R5年度の取組概要	R6年度の取組予定	R7年度最終目標 (数値または状態)
気軽に活用できる施設を目指して	彩湖自然学習センター(みどりバール)活動の推進	生涯学習課(彩湖)	彩湖自然学習センターのホームページ上にデジタルミュージアムを開設する	資料のデジタル化の推進	A	・ホームページ上でおうちミュージアムを公開	A	ホームページ上にデジタルミュージアムを開設	ホームページ上にデジタルミュージアムを開設	A	ホームページ上にデジタルミュージアムを開設	ホームページ上にデジタルミュージアムを開設	ホームページ上にデジタルミュージアムを開設
		生涯学習課(彩湖)	彩湖わくわく2Days等ワークショップや各種イベントを実施する	パネル展、GWクイズラリー、彩湖わくわく2Days、夏休みクイズラリー	A	・彩湖わくわく2Days他各種イベントを実施	A	パネル展、25周年記念ミニミニクイズラリー、彩湖わくわく2Days、夏休みクイズラリー	パネル展、25周年記念ミニミニクイズラリー、彩湖わくわく2Days、夏休みクイズラリー	A	パネル展、25周年記念ミニミニクイズラリー、彩湖わくわく2Days、夏休みクイズラリー	パネル展、彩湖わくわく2Days、夏休みクイズラリー	パネル展、彩湖わくわく2Days、夏休み他各クイズラリー
		生涯学習課(彩湖)	オリジナルグッズ販売に向けた調査研究、グッズの企画	販売方法等の検討	B	実施に向けた調査	B	25周年記念エコバッグの作成	25周年記念エコバッグの作成	A	オリジナルバッジの作成	オリジナルグッズの作成検討	グッズ作成、販売等の検討
		生涯学習課(彩湖)	博学連携事業の一環として学校の協力を得てワークショップを開催	実施方法の検討	B	実施に向けた調査	B	出張授業の実施	出張授業の実施	A	出張授業の実施	出張授業の実施	実施方法の検討
		生涯学習課(彩湖)	彩湖を管理する荒川上流河川事務所と連携してツアーを実施し、彩湖の自然と役割について体験して学ぶ	年2回実施	C	・年1回実施	B	令和4年5月実施「彩湖周辺の野鳥観察 保全ゾーン編」18人参加 令和4年10月実施「秋の保全ゾーンを歩こう」13人参加	年1回実施予定	A	令和5年5月実施「彩湖周辺の野鳥観察@カヌー編」8人参加 令和5年10月実施「彩湖周辺の野鳥観察@カヌー編」7人参加	年2回実施予定	年1回以上実施
		生涯学習課(彩湖)	荒川上流河川事務所、水と緑の公社等と連携し環境・減災教育を推進する	荒川上流河川事務所と連携した年2回の「彩湖自然体験ツアー」、水と緑の公社と連携し「さくらそうまつり」や「道満祭り」に参加	C	・「彩湖自然体験ツアー」は年1回実施 ・水と緑の公社のイベントを観察	B	水と緑の公社と連携し「さくらそうまつり」や北戸田イオンパネル展に参加	水と緑の公社と連携し「さくらそうまつり」に参加	A	水と緑の公社と連携し「さくらそうまつり」に参加	水と緑の公社と連携し「さくらそうまつり」や北戸田イオンパネル展に参加	水と緑の公社と連携し「さくらそうまつり」や北戸田イオンパネル展に参加
		生涯学習課(彩湖)	過去子ども自然クラブに参加した卒業生に参加してもらい小学生との交流を図る	年4回	評価不可	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため講座参加人数を減らしたため、卒業生の参加も見送った	評価不可	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の為の見直し	情勢を踏まえて実施検討予定	評価不可	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の為の見直し	実施予定	年1回以上実施
		生涯学習課(彩湖)	小学3年生のセンター授業を始めサイエンスサポートプログラムを充実させ、学校との協力関係を深める	小学3年生センター授業を市内全小学校が実施	B	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、センター授業を中止し、代わりにセンタースタッフが要望のあった7校に出張し授業をおこなった	B	小学3年生センター授業を市内全小学校が実施 サイエンスサポートプログラムを年5回実施	小学3年生センター授業を市内全小学校が実施	A	小学3年生センター授業を市内全小学校が実施 サイエンスサポートプログラムを年11回実施	小学3年生センター授業を市内全小学校実施予定	小学3年生センター授業を市内全小学校が実施 サイエンスサポートプログラムを年5回実施
		生涯学習課(彩湖)	2階水辺シアターの改修や5階屋上にベンチを追加設置、館内照明のLED化等実施する	2階水辺シアターのタッチパネル化、おむつ交換台の設置等	B	・2階水辺シアターの改修(プロジェクター、スクリーンの交換)、おむつ交換台の設置	B	シアター改修の実施	館内照明の一部LED化の実施	A	5階ベンチの再設置、2階展示の一部改修、4階での市内中学校との共同展示	2階展示の一部改修、4階での市内中学校との共同展示予定	陳腐化した展示や老朽化した施設の改修を実施
		生涯学習課(彩湖)	現在配布している「彩湖のいきものたち」等刊行物の内容を更新し、充実させる	「彩湖自然学習センター見学のしおり」、「彩湖・道満の生きものたちの声」を印刷・作成	A	・「彩湖自然学習センター見学のしおり」、「彩湖・道満の生きものたちの声」を印刷・作成	A	各種刊行物の内容更新	各種刊行物の内容更新	A	各種刊行物の内容更新	各種刊行物の内容更新	各種刊行物の内容更新
		教育政策室	博物館活用検討委員会等を活用した授業支援(社会科) ・小学校第3学年における博物館授業の実施 ・小学校第6学年における博物館授業の実施 彩湖自然学習センターによる授業支援(理科) ・サイエンスサポートプログラムをとおした授業支援 ・彩湖自然学習センター活用検討委員会による実践収集	(社会科) ・地域の具体的な事例が豊富に残る博物館の役割を理解する。 ・博物館の学校教育での有効な活用方法について検討する。 (理科) ・各学校の希望を受け、サイエンスサポートプログラムを実施している。 ・彩湖自然学習センター活用検討委員会によって実践し、その事例を集めている。	B	(理科) ・サイエンスサポートプログラムについては、新型コロナウイルス感染症の影響により、9校のみ実施した。 ・彩湖自然学習センター活用検討委員会は実施できなかった。	B	(社会科) ・小学校第3学年及び第6学年における博物館授業についてはオンラインで実施した。 (理科) ・小学校3年生対象の彩湖自然学習センター授業は市内小学校全校で実施した。 ・サイエンスサポートプログラムについては、4校で実施した。 ・彩湖自然学習センター活用検討委員会を3回開催し、センター活用に向けた意見交換や情報交換を行った。	(社会科) ・博物館活用検討委員会等を活用した授業支援を推進する。 ・小学校第3学年における博物館授業の実施 ・小学校第6学年における博物館授業の実施 (理科) ・小学校3年生対象の彩湖自然学習センター授業は市内小学校全校で実施した。 (理科) ・小学校3年生対象の彩湖自然学習センター授業は市内小学校全校で実施した。 ・サイエンスサポートプログラムについては、3校で実施した。 ・彩湖自然学習センター活用検討委員会を2回開催し、センター活用に向けた意見交換や情報交換を行った。	(社会科) ・博物館に保管されている資料一覧を社会科副読本に再掲載し、授業等へ貸出を行った。 ・小学校第3学年における博物館授業の実施 ・小学校第6学年における博物館授業の実施 (理科) ・小学校3年生対象の彩湖自然学習センター授業は市内小学校全校で実施した。 (理科) ・小学校3年生対象の彩湖自然学習センター授業は市内小学校全校で実施する。 ・活用検討委員会を3回開催し、教科等研究部においてサイエンスサポートプログラムを紹介することで全ての学校が活用できるように環境を整え、啓発する。	(社会科) ・地域の具体的な事例だけでなく、生涯学習機関としての博物館の位置付けを理解する。 ・学校教育において、博物館を有効に活用する。 (理科) ・活用検討委員会の事例等をもとに、サイエンスサポートプログラムを全ての学校が活用する。		
		生涯学習課(公民館)	公民館育成サークル認定制度の維持。サークル活動紹介・体験会の実施。	実施	B	公民館育成サークルの更新を実施。また、サークル体験会を実施。	B	・ホームページ及び館内掲示 ・サークル体験会の実施 ・公民館まつりで展示及び発表会	・ホームページ及び館内掲示 ・サークル体験会の実施 ・公民館まつりで展示及び発表会	A	・ホームページ及び館内掲示 ・サークル体験会の実施 ・公民館まつりで展示及び発表会 ・wifを活用した活動発表の動画配信	・ホームページ及び館内掲示 ・サークル体験会の実施 ・公民館まつりで展示及び発表会 ・wifを活用した活動発表の動画配信	実施 (R6追加)wifを活用した活動発表の動画配信

基本方針2 人生100年時代を豊かに生きる ~ライフステージや多様な市民ニーズに応じた学びの提供~

施策	方策	担当課	取組内容	R3年度当初目標 (数値または状態)	R3年度 評価	R3年度取組概要	R4年度 評価	R4年度取組概要	R5年度取組予定	R5年度取組の 評価	R5年度の取組概要	R6年度の取組予定	R7年度最終目標 (数値または状態)
公民館等の活動の推進	生涯学習課(公民館)		子ども向け講座の開催	実施	B	新型コロナウイルス感染対策にて中止となった講座もあるが、工作講座や料理講座などの講座を実施	B	・子ども向け講座回数 18回 (参加者数 199人)	・子供向け講座、子ども大学を開催	A	・子ども向け講座回数 15回 (参加者数 197人) ・子ども大学 4回 (参加者数 199人) 学校の課題とリンクした講座の企画、地域人材講師による講座(異年齢交流)	・子供向け講座、子ども大学を開催 学校の課題とリンクした講座の企画、地域人材講師による講座(異年齢交流)	実施
			スマホ・パソコン質問コーナーの開催	実施	B	【3館共通】一時期、新型コロナウイルス感染対策のため中止としたが、スマホ・パソコン質問コーナーを定期的に実施。	B	・スマホ・パソコン質問コーナーの開催 34回 (参加者数 137人)	・スマホ・パソコン質問コーナーを開催する 36回	A	・スマホ・パソコン質問コーナーの開催 39回 (参加者数 151人) ほか、ミニ講座の実施	・スマホ・パソコン質問コーナーを開催する 36回	実施
			多世代交流ひろばの環境整備(設置は福祉センター)	実施	B	多世代交流ひろば「わいわいスポット」を継続運営。	A	・新型コロナウイルス感染対策に応じた環境整備(飲食の解禁) ・wifi環境整備	・利用者のニーズに合わせた環境整備と活用	A	・新型コロナウイルス感染対策に応じた環境整備(飲食の解禁) ・wifi環境整備	・多世代交流ひろば「わいわいスポット」事業はR5年度で終了(所管課は協働推進課)したが、各館のフリースペースとして継続運営。	実施
			市内社会教育施設などとの連携講座等の開催	実施	評価不可	公民館まつり等連携事業が新型コロナウイルス感染対策のため、オンデマンド配信など開催手法等の変更となり、実施困難となった。	A	・施設見学を実施 3回 (参加者数 38人) ・市内高校と連携した講座を実施	・施設見学を実施 ・公民館まつりにて学校と連携した取組を実施する。	A	・施設見学を実施 3回 (参加者数 102人) ・市内高校と連携した講座を実施(県立南陵高校連携講座夏休み子どもチャタンス 参加者16人) ・公民館まつりにて小中学校と連携し、絵画展示を実施。	・施設見学を実施 ・公民館まつりにて学校と連携した取組を実施する。	実施
			生涯学習施設での多世代交流の場づくり	芦原小学校生涯学習施設を活用した多世代交流の場づくりにつながる事業の検討	A	・生涯学習施設開放の実施 ・登録団体主催子供向けイベントの活動支援(「星空案内人」など)への望遠鏡貸出等)	A	・「ふれあいラウンジ」の令和5年度の開放再開に向けた調整・取組の実施。 ・登録団体の活動支援(広報の支援等)	・「ふれあいラウンジ」の再開(令和5年5月)	A	・「ふれあいラウンジ」の利用再開(5月)。 ・登録団体の求めに応じ、事業の広報活動の援助(広報掲載、チラシ・ポスターの施設内配架)を実施。 ・利用登録団体に、施設情報をより確実・正確に周知するた、め、メール登録を行うよう運用変更。	「ふれあいラウンジ」の用途変更及び施設の活用充実に向けた管理運営の実施。	芦原小学校生涯学習施設を活用した多世代交流の場づくりにつながる事業の実施
	協働推進課		多くの世代が参加できるような、様々な講座やイベントを開催することで、様々な世代が交流できる場を設けていく。	・笹目コミュニティセンター：170回 ・新曽南多世代交流館：18回	B	・笹目コミュニティセンター：70回 ・新曽南多世代交流館：12回	・笹目コミュニティセンター：162回 ・総務部会：2回 ・文化部会：31回 ・保険スポーツ部会：6回 ・福祉部会：18回 ・青少年部会：14回 ・IT推進部会：91回 ・新曽南多世代交流館：20回 ・子育て支援事業：3回 ・高齢者の健康推進事業：2回 ・市民交流の推進事業：7回 ・戸田中央メディックス埼玉との連携事業：8回	・笹目コミュニティセンター：219回 ・新曽南多世代交流館：24回	・笹目コミュニティセンター：172回 ・総務部会：4回 ・文化部会：36回 ・保険スポーツ部会：6回 ・福祉部会：18回 ・青少年部会：16回 ・IT推進部会：92回 ・新曽南多世代交流館：26回 ・子育て支援事業：5回 ・高齢者の健康推進事業：2回 ・市民交流の推進事業：7回 ・戸田中央メディックス埼玉との連携事業：12回	・笹目コミュニティセンター：198回 ・総務部会：4回 ・文化部会：39回 ・保険スポーツ部会：15回 ・福祉部会：13回 ・青少年部会：16回 ・IT推進部会：111回 ・新曽南多世代交流館：25回 ・子育て支援事業：5回 ・高齢者の健康推進事業：2回 ・市民交流の推進事業：6回 ・戸田中央メディックス埼玉との連携事業：12回	・笹目コミュニティセンター：210回 ・新曽南多世代交流館：30回		
			障害者対象事業、障害者スポーツ教室等、身体・精神障害者対象のサロン活動、心身障害児を対象に機能訓練等を目的とした体操・レクリエーション、余暇支援活動を実施する。	実施	B	・サロン活動 16回(参加人数107人) ・障害者対象事業 95回(参加人数790人) ・心身障害児事業 80回(参加延人数571人) ・相談事業 17回(参加人数94人) ・障害者スポーツ 6回(参加人数69人)	・サロン活動 16回(参加人数104人) ・障害者対象事業 121回(参加人数748人) ・心身障害児事業 114回(参加延人数849人) ・相談事業 24回(参加人数105人) ・障害者スポーツ 6回(参加人数53人)	障害者対象事業、障害者スポーツ教室等、身体・精神障害者対象のサロン活動、心身障害児を対象に機能訓練等を目的とした体操・レクリエーション、余暇支援活動を実施する。	B	・サロン活動 25回(参加人数145人) ・障害者対象事業 130回(参加人数794人) ・心身障害児事業 111回(参加延人数879人) ・相談事業 24回(参加人数89人) ・障害者スポーツ 6回(参加人数55人)	障害者対象事業、障害者スポーツ教室等、身体・精神障害者対象のサロン活動、心身障害児を対象に機能訓練等を目的とした体操・レクリエーション、余暇支援活動を実施する。	実施	
	福祉保健センター		上戸地域交流センターにおける多世代交流スペースの運営	年間利用者延べ人数 19,200人	C	年間利用者延べ人数 7,563人	9,929人	市民が気軽に利用できるよう、引き続き多世代交流スペースの運営を行う	B	12,358人	市民が気軽に利用できるよう、引き続き多世代交流スペースの運営を行う	年間利用者延べ人数 16,480人	

基本方針2 人生100年時代を豊かに生きる ~ライフステージや多様な市民ニーズに応じた学びの提供~

施策	方策	担当課	取組内容	R3年度当初目標 (数値または状態)	R3年度 評価	R3年度取組概要	R4年度 評価	R4年度取組概要	R5年度取組予定	R5年度取組の 評価	R5年度の取組概要	R6年度の取組予定	R7年度最終目標 (数値または状態)
スポーツ・レクリエーション活動の推進		文化スポーツ課	スポーツ実施率の向上	週1回スポーツを実施する市民の割合 32.2%	評価不可	指標となる市民アンケート調査を行っていないため評価不可	評価不可	指標となる市民アンケート調査を行っていないため評価不可	戸田マラソン大会: R4.11.19開催予定 スポーツ教室:各種ボート教室、カヌー教室、スポーツセンタースポーツ教室等 開催予定 「ボートのまち戸田」の事業:開催予定	A	週1回スポーツを実施する市民の割合 61.3%(2023年度市民意識調査結果「週1回以上スポーツを実施する市民の割合」引用) スポーツ実施率向上のため、市主催で以下のイベントを実施予定 ・戸田マラソン大会: R6.12.8開催予定 ・スポーツ教室:各種ボート教室、カヌー教室、スポーツセンタースポーツ教室等開催予定 ・「ボートのまちづくりコンソーシアム」におけるボートイベント	週1回スポーツを実施する市民の割合 60.%	
		文化スポーツ課	ボート、カヌー教室の参加者数の向上	参加者数 327人	C	参加者数 161人 市民ボート教室参加者数:132人 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部中止 カヌー体験教室参加者数:29人	B	参加者数 325人 市民ボート教室参加者数:276人 カヌー体験教室参加者数:49人 悪天候により当日欠席者有	ボート教室:年4期 開催予定 カヌー教室:年2回 開催予定	B	参加者数 344人 市民ボート教室参加者数:301人 カヌー体験教室参加者数:43人	ボート教室:年4期 開催予定 カヌー教室:年2回 開催予定	参加者数 350人
		文化スポーツ課	スポーツ・レクリエーション活動団体への支援(補助金交付団体数)	団体数 73団体	C	団体数 72団体 スポーツ関連団体数の減少のため、目標を下回った	C	団体数 72団体 スポーツ関係団体数の減少のため、目標を下回った。	スポーツ・レクリエーション活動団体へ補助金交付予定	C	団体数 71団体 (スポーツ協会、スポーツ少年団、レクリエーション協会加盟団体合計) スポーツ関係団体数の減少のため、目標を下回った。	スポーツ・レクリエーション活動団体へ補助金交付予定	団体数 73人
		障害福祉課	障害者対象事業、障害者スポーツ教室等、身体・精神障害者対象のサロン活動、心身障害児を対象に機能訓練等を目的とした体操・レクリエーション、余暇支援活動を実施する。	実施	B	・サロン活動 16回(参加人数107人) ・障害者対象事業 95回(参加人数790人) ・心身障害児事業 80回(参加延人数571人) ・相談事業 17回(参加人数94人) ・障害者スポーツ 6回(参加人数69人)	B	・サロン活動 16回(参加人数104人) ・障害者対象事業 121回(参加人数748人) ・心身障害児事業 114回(参加延人数849人) ・相談事業 24回(参加人数105人) ・障害者スポーツ 6回(参加人数53人)	障害者対象事業、障害者スポーツ教室等、身体・精神障害者対象のサロン活動、心身障害児を対象に機能訓練等を目的とした体操・レクリエーション、余暇支援活動を実施する。	B	・サロン活動 25回(参加人数145人) ・障害者対象事業 130回(参加人数794人) ・心身障害児事業 111回(参加延人数879人) ・相談事業 24回(参加人数89人) ・障害者スポーツ 6回(参加人数55人)	障害者対象事業、障害者スポーツ教室等、身体・精神障害者対象のサロン活動、心身障害児を対象に機能訓練等を目的とした体操・レクリエーション、余暇支援活動を実施する。	実施
		文化スポーツ課	文化祭・音楽祭・美術展覧会を開催し、文化鑑賞の機会を創出する。	鑑賞者数 12,947人	C	鑑賞者数 3,035人 文化祭鑑賞者数:1,174人 音楽祭鑑賞者数:1,861人 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、文化祭は一部中止、美術展覧会は中止	C	鑑賞者数 7,224人 文化祭鑑賞者数:2,352人 音楽祭鑑賞者数:2,655人 美術展覧会鑑賞者数:2,217人	文化祭:10月~11月開催予定 音楽祭:9月~2月開催予定 美術展覧会:10月開催予定	C	鑑賞者数 10,833人 文化祭鑑賞者数:3,101人 音楽祭鑑賞者数:4,996人 美術展覧会鑑賞者数:2,736人	文化祭:10月~11月開催予定 音楽祭:9月~2月開催予定 美術展覧会:9月~10月開催予定	鑑賞者数 12,947人以上
スポーツ・文化芸術活動の推進		文化スポーツ課	文化会館の自主事業として参加型の事業を実施する。	参加者数 94人	C	参加者数 33人 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部中止	A	参加者数 166人 市民ミュージカル:21人 劇団ONE定期公演:12人 劇団ONE体験レッスン:33人 スタインウェイ1回目:53人 スタインウェイ2回目:37人 ジョイナス:10人	市民ミュージカル等、年間を通じ参加型事業を開催予定	A	参加者数 164人 劇団ONE定期公演:14人 スタインウェイ1回目:55人 スタインウェイ2回目:52人 ピアノマラソンプレ:16人 LIVE ACT:17人 ジョイナス:10人	「スタインウェイピアノを弾いてみませんか」等、年間を通じ参加型事業を開催予定	鑑賞者数 102人以上
		生涯学習課(文化財)	文化財講座の開催	年間1回	B	文化財講座「戸田の流行神羽黒山とカ石」開催、1回	A	6月に文化財企画展講座として「古墳時代の荒川舟運と戸田の津」を、11月に文化財講座「戦国時代の佐々目郷」を開催した。	年間1回	A	文化財講座「文化財の保存と修理」開催、16人参加	年間1回	年間2回

基本方針2 人生100年時代を豊かに生きる ~ライフステージや多様な市民ニーズに応じた学びの提供~

施策	方策	担当課	取組内容	R3年度当初目標 (数値または状態)	R3年度 評価	R3年度取組概要	R4年度 評価	R4年度取組概要	R5年度取組予定	R5年度取組の 評価	R5年度の取組概要	R6年度の取組予定	R7年度最終目標 (数値または状態)
文化芸術活動の推進	生涯学習課(文化財)		市内文化財を巡るまち歩きなどの実施	年間1回	B	文化財まち歩き「上戸田コース」開催、1回	A	11月に新曽コースの文化財街ある記を行った。	年間1回	A	文化財巡り「史ある記マップ笹目コース」開催、18人参加	年間1回	年間2回
	生涯学習課(文化財)		文化財に関する動画の制作、配信	継続して実施	B	埋蔵文化財発掘調査の動画を撮影した。	A	文化財展示に併せて告知動画を配信し、また、11月の文化財講座をオンデマンドで配信した。	継続して実施	A	下戸田ささら獅子舞(市指定無形民俗文化財)奉納舞の動画について、市公式動画チャンネルで配信を行った。	継続して実施	継続して実施
	生涯学習課(文化財)		文化財登録制度など文化財の新しい保護の在り方の調査、研究	文化財登録制度など文化財の新しい保護の在り方の調査、研究	B	継続して調査を行っている	B	文化財登録制度や登録有形文化財(建造物)について調査を行った。	文化財登録制度など文化財の新しい保護の在り方の調査、研究	B	文化財登録制度や登録有形文化財(建造物)について、引き続き調査を行った。	継続して実施	文化財指定以外に新たな文化財保護の制度を開始
	生涯学習課(文化財)		市内偉人に関する調査・研究	調査・研究のテーマ設定、計画の作成	B	継続して調査を行っている	B	市内偉人に関する調査を行った。	調査・研究のテーマ設定、計画の作成	B	市内偉人に関する調査を引き続き行った。	継続して実施	偉人に関する特別展・企画展、講座の実施
	生涯学習課(文化財)		管理補助金・事業費補助金の交付、うばゆり育成	管理補助金・事業費補助金の交付	B	管理補助金を文化財所有者に交付。上戸田氷川神社の力石整備に事業費補助金を交付。	A	管理補助金の交付を行った。	管理補助金・事業費補助金の交付、うばゆり育成	A	管理補助金の交付を行った。夫婦柿保護柵の整備事業に保存事業費補助金の交付を行った。うばゆり保護育成を行った。	継続して実施	管理補助金・事業費補助金の交付、うばゆり育成
	生涯学習課(文化財)		市内文化財を巡るまち歩き講座の実施、文化財標柱・説明板の修繕	年間1回、説明板の修繕・標柱設置	B	上戸田氷川神社の案内板を張替え。指定文化財標柱を新設	B	説明板・標柱の状況を確認した。	年間1回、説明板の修繕・標柱設置	B	標柱・説明板の状況調査を行い、令和6年度以降の修繕に向けて参考資料を作成した。	年間1回。市役所本庁舎敷地内に設置の文化財説明板の修繕	年間2回、説明板・標柱の修繕
	障害福祉課		障害者週間に合わせて、障がい者の文化芸術作品を市役所ロビーに展示する。	実施	B	・障害者週間(令和3年12月5日~10日)に合わせて、障がい者の文化芸術作品16点を市役所ロビーに展示	B	・障害者週間(令和4年12月3日~9日)に合わせて、障がい者の文化芸術作品を市役所ロビーに展示 22点	障害者週間に合わせて、障がい者アート展を実施する。	A	・障害者週間(令和5年12月3日~8日)に合わせて、障がい者の文化芸術作品を戸田市立郷土博物館3階ロビー及び市役所ロビーに展示 109点	障害者週間に合わせて、障がい者アート展を実施する。	実施

基本方針3 まちを元気に ~学びの成果の活用と交流の仕組みづくり~

施策	方策	担当課	取組内容	R3年度当初目標 (数値または状態)	R3年度 評価	R3年度取組概要	R4年度 評価	R4年度取組概要	R5年度の取組予定	R5年度取組 の評価	R5年度の取組概要	R6年度の取組予定	R7年度最終目標 (数値または状態)
子どもの「育ち」を支える学校・家庭・地域の力	家庭教育の推進	生涯学習課	家庭教育学級、親の学習・すこやか子育て講座、子育て講演会の実施	実施	B	親の学習・すこやか子育て講座はコロナの影響で中止	B	親の学習・すこやか子育て講座は、希望する学校のみ実施した。	実施	B	親の学習・すこやか子育て講座は、希望する学校のみ実施した。	各学校の取組状況を調査し、ニーズに合った講座計画を立案。	実施
		子育て支援課	戸田公園駅前子育て広場及び親子ふれあい広場7か所、主に乳幼児をもつ子育て中の親子が気軽に集い交流する場を提供する。	戸田公園駅前子育て広場、親子ふれあい広場利用実績16745人	A	戸田公園駅前子育て広場、親子ふれあい広場利用実績19,636人	A	戸田公園駅前子育て広場、親子ふれあい広場利用実績19475人	戸田公園駅前子育て広場、親子ふれあい広場利用実績15530人	A	戸田公園駅前子育て広場、親子ふれあい広場利用実績24,575人	戸田公園駅前子育て広場、親子ふれあい広場利用実績26,000人	戸田公園駅前子育て広場、親子ふれあい広場利用実績14755人
		生涯学習課 (公民館)	家庭教育の向上に資する講座の実施	実施	B	家庭教育アドバイザーによる講座を実施。	B	・子育て講座 18回 (参加者数 116人)	・子育て講座を開催	A	・子育て講座 18回 (参加者数 138人) 託児サービスを行い、利便を向上させた。	・子育て講座を開催	実施
	学校との連携	児童青少年課	放課後におけるスポーツや文化活動について、「放課後子ども教室」を安全に開催し、スタッフの確保とともに、各教育機関との連携を図る。	放課後子ども教室のスタッフを募集し、市内小学校で「放課後子ども教室」を開催する。	B	・放課後子ども教室のコーディネーター会議開催 1回 ・広報、HPでスタッフの募集を実施 ・コロナ禍のため、年間を通して放課後子ども教室を中止とした。	B	・放課後子ども教室のコーディネーター会議開催 3回 ・広報、HPでスタッフの募集を実施 ・下半期に開催を予定していたが、コロナ禍のため、年間を通して放課後子ども教室を中止とした。	・放課後子ども教室の順次再開 ・広報、HPでスタッフの募集を実施 ・運営委員会の開催及び今後の放課後子ども教室の方向性の検討	B	・放課後子ども教室を12校中9校で徐々に再開した。 ・広報・HPでスタッフの募集を実施した。 ・運営委員会を開催し、コロナ禍後の安定した運営について検討した。	・放課後子ども教室の開催回数の増加 ・実施校の増加 ・スタッフの拡充	スタッフを確保し、定期的に「放課後子ども教室」を開催し、多様な遊びを提供できるよう、内容を充実させる。
		障害福祉課	市内小中学校の児童生徒に対し、障害について共に考える参加型講座（出前講座またはオリジナル啓発動画の提供）を実施する。	実施	B	・市内小・中学校で出前講座開催 9校（参加者数1,175人） ・対面とZoomによるハイブリッド開催方式の導入 ・オリジナル啓発動画を作成し配信（Facebook、Twitter）	B	・市内小学校で出前講座開催 4校（参加者数422人） ・内容は、対面による白杖体験。障害者の気持ちを考える場を設けた。	市内小中学校の児童生徒に対し、障害について共に考える参加型講座（出前講座またはオリジナル啓発動画の提供）を実施する。	B	・市内小学校で出前講座開催7校（参加者数723人） ・内容は、対面による白杖体験。障害者の気持ちを考える場を設けた。	市内小中学校の児童生徒に対し、障害について共に考える参加型講座（出前講座またはオリジナル啓発動画の提供）を実施する。	実施
	地域との連携	子育て支援課	戸田公園駅前子育て広場及び親子ふれあい広場7か所（市内小学校学童保育室6か所、西部福祉センター）において、子育て支援員の資格をもつ地域の方に運営協力いただく。	子育て支援員の資格をもつ地域の方に対し、こども家庭支援室の所管するすべての地域子育て支援拠点を活動の場として提供し、地域との連携を図る。	A	活動場所 ・親子ふれあい広場（7か所） ・戸田公園駅前子育て広場 ・子育て講演会	A	活動場所 ・親子ふれあい広場（7か所） ・戸田公園駅前子育て広場 ・子育て講演会	子育て支援員の資格をもつ地域の方に対し、こども家庭支援室の所管するすべての地域子育て支援拠点を活動の場として提供し、地域との連携を図る。	A	活動場所 ・親子ふれあい広場（7か所） ・戸田公園駅前子育て広場 ・子育て講演会	子育て支援員の資格をもつ地域の方に対し、こども家庭支援室の所管するすべての地域子育て支援拠点を活動の場として提供し、地域との連携を図る。	子育て支援員の資格をもつ地域の方に対し、こども家庭支援室の所管するすべての地域子育て支援拠点を活動の場として提供し、地域との連携を図る。
		生涯学習課（彩湖）	博学連携事業の3年生センター授業や出張授業の実施	12校	B	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、センター授業を中止し、代わりにセンタースタッフが要望のあった7校に出張し授業をおこなった	B	博学連携事業の市内12小学校において3年生センター授業及び出張授業の一部実施	博学連携事業の市内12小学校において3年生センター授業及び出張授業の一部実施	B	博学連携事業の市内12小学校において3年生センター授業及び出張授業の一部実施	博学連携事業の市内12小学校において3年生センター授業及び出張授業の一部実施	12校
		生涯学習課 (公民館)	体験型学習を取り入れた子ども講座の実施	実施	B	新型コロナウイルス感染対策にて中止となった講座もあるが、工作講座や料理講座などの体験型講座を実施	B	・子ども向け講座回数 17回 (参加者数 194人)	・体験型の子ども講座を開催	A	・子ども向け講座回数 13回 (参加者数 181人) 託児サービスを行い、利便を向上させた。	・体験型の子ども講座を開催	実施

基本方針3 まちを元気に ~学びの成果の活用と交流の仕組みづくり~

施策	方策	担当課	取組内容	R3年度当初目標 (数値または状態)	R3年度 評価	R3年度取組概要	R4年度 評価	R4年度取組概要	R5年度の取組予定	R5年度取組 の評価	R5年度の取組概要	R6年度の取組予定	R7年度最終目標 (数値または状態)
地域を元気にする学びの推進	地域を知る	生涯学習課 (公民館)	地域を知るための講座の実施	実施	B	地域の街並みや寺院などを散歩しながら、ツアーガイドとともに歴史を学ぶ講座を実施。	B	・街歩き講座 1回 (参加者 16人) ・戸田市歴史講座 4回 (参加者数 35人)	・地域を知る講座を実施	A	・街歩き講座・施設見学 2回 (参加者 26人) ・戸田市歴史講座 3回 (参加者数 58人) ・ウォーキング講座の実践で美笹地区巡りを実施。歩きながら地域を知る講座を新設した。	・地域を知る講座を実施 ・街歩きで地域を知る講座の実施	実施
		生涯学習課 (文化財)	文化財講座の開催(年間)	1回	B	文化財講座「戸田の流行神羽黒山と力石」開催、1回	A	6月に文化財企画展講座として「古墳時代の荒川舟運と戸田の津」を、11月に文化財講座「戦国時代の佐々目郷」を開催した。	1回	A	文化財講座「文化財の保存と修理」開催、16人参加	1回	2回
		経済戦略室	地域資源を活用した観光振興の推進	地域資源を活用した観光振興の推進に向け、本市の観光振興について検討する。	B	市の魅力発信を目的に、(公財)戸田市水と緑の公社とInstagramの共同アカウントを作成	B	・ふるさと納税体験型返礼品を拡充 ・Instagramにて市内の風景等を「#とだ日和」として投稿及び同ハッシュタグによる市民等の投稿のリポスト ・ふるぶ戸田の市外観光施設等への配架	・戸田橋花火大会開催による誘客 ・左記の各取組の継続実施	B	・ふるさと納税返礼品開拓を実施 ・Instagramにて市内の風景等を「#とだ日和」として投稿及び同ハッシュタグによる市民等の投稿のリポスト ・ふるぶ戸田の市外観光施設等への配架 ・戸田橋花火大会開催による誘客	・ふるぶ戸田の改訂 ・左記の各取組の継続実施	地域資源を活用した観光振興を推進する。
		生涯学習課	市民大学のとだ学(歴史・文化・産業・観光・自然など様々なテーマで市内の様々な場所で開催)	実施	A	「彩湖から読み解く戸田の防災」では、彩湖自然学習センターを会場として実施し、彩湖の機能についても学んだ。	A	「戸田市の教育を知ろう!」(11月19日(土)実施)では、戸田東小・中学校の見学を行い、特徴的な施設や市の教育の取組について学んだ。	とだ学を開催予定。(1回)	A	「介護施設をたずねてみませんか」を開催し、地域の介護施設を見学した。	とだ学を開催予定。(1回)	実施
	協働推進課	協働推進課	ボランティア・市民活動支援センターにおいて、市民活動団体の支援や市民活動者を養成する講座の開催等を実施する。	市民活動の支援に係る事業の実施回数(10回)	A	市民活動の支援に関し、センター主催事業として12講座実施した。	A	市民活動の支援に関し、センター主催事業として、12回の講座を実施した。	市民活動の支援に係る事業の実施回数(10回)	A	市民活動の支援に関し、センター主催事業として、12回の講座を実施した。	市民活動の支援に係る事業の実施回数(10回)	市民活動の支援に係る事業の実施回数(10回)
		福祉保健センター	戸田市福祉協議会と連携、ボランティアセンターにおいてボランティアセミナーを開校する。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、定員を通常の半分(10名)とし、三密を避けながら実施予定。	B	14名の申込みがあり、全19コマの講座の3分の2を7名が受講し修了した。	C	10月3日(月)~12月19日(月)の全11日間(毎週月曜日または火曜日)に実施。受講者5名。	全11日間の長期間の講座ではなく、2、3日の短期間の講座とし、名称を「ボランティア入門講座」と改め、年2回実施予定。	B	短期間の講座の内容を障害者支援編と生活支援、災害編の2つに内容を分け、11月と1月に2回実施した。参加者は延べ9名であった。	令和6年度も短期間の入門講座を開催する予定。	年間受講者数10名
		協働推進課	「戸田人材の森」を所管する生涯学習課と連携しながら、「戸田市男女共同参画人材リスト取扱要綱」に基づく男女共同参画人材リストの活用を働きかける。	男女共同参画人材リスト登録者数(34人)	B	「戸田人材の森」を所管する生涯学習課と連携しながら、男女共同参画人材リストの活用を働きかけ、登録者数を35名となった。	B	庁内に対して、男女共同参画人材リストの活用を働きかけた。また、男女共同参画情報紙等で人材リストの登録を呼びかけ、登録者数が42名となった。	情報紙等で男女共同参画人材リストの増加を図る。	B	庁内に対して、男女共同参画人材リストの活用を働きかけた。また、男女共同参画情報紙等で人材リストの登録を呼びかけ、登録者数は42名である。	情報紙等で男女共同参画人材リスト登録者数の増加を図る。	男女共同参画人材リスト登録者数(50人)

基本方針3 まちを元気に ~学びの成果の活用と交流の仕組みづくり~

施策	方策	担当課	取組内容	R3年度当初目標 (数値または状態)	R3年度 評価	R3年度取組概要	R4年度 評価	R4年度取組概要	R5年度の取組予定	R5年度取組 の評価	R5年度の取組概要	R6年度の取組予定	R7年度最終目標 (数値または状態)
地域で活躍する人材の養成と支援		健康長寿課	認知症を正しく理解し、認知症の方や家族を温かく見守る応援者を養成する講座を開催する。対象は、地域住民・町会・民生委員等で、養成講座後のフォローアップや小学生・中学生等、若年層に向けての講座開催も検討する。	認知症への理解を深めた人数 6,664人	C	コロナ禍のため、認知症サポーター養成講座は15回の開催、合計236人の養成に留まりコロナ禍前と比較すると大きく養成者数が減少している。	C	コロナ禍のため、認知症サポーター養成講座は11回の開催、合計427人の養成に留まりコロナ禍前と比較すると大きく養成者数が減少している。	実施希望団体からの要望に応じて実施していることから、実施希望団体、ひいては養成者の増加を図るべく周知啓発等について、併せて実施していく。	C	認知症サポーター養成講座は16回の開催、合計303人の養成に留まりコロナ禍前と比較すると大きく養成者数が減少している。	実施希望団体からの要望に応じて実施しているものについては、実施希望団体、ひいては養成者の増加を図るために認知症サポーター養成講座の周知啓発等について実施していく。また、地域包括支援センターや認知症疾患医療センターと連携し、実施者としての開催回数の増加を図る。	認知症への理解を深めた人数 11,253人
		みどり公園課	・戸田ヶ原自然再生に関するガイド講習を実施し、戸田ヶ原ガイドを育成する。受講後は、各種イベントでガイドとして実践する。	戸田ヶ原ガイド講習会参加人数 10人	C	戸田ヶ原ガイド講習会参加人数 5人	C	戸田ヶ原ガイド講習会参加人数 3人	戸田ヶ原ガイド講習会実施回数 1回	B	戸田ヶ原ガイド講習では参加人数が確保できなくなってきたため、戸田ヶ原ガイドになる必要を求めない、「戸田ヶ原の歴史と自然を楽しもう」に変更し実施した。参加人数 1人	戸田ヶ原の自然と歴史を楽しもう(旧:戸田ヶ原ガイド講習会)実施回数 1回	戸田ヶ原の歴史と自然を楽しもう(旧:戸田ヶ原ガイド講習会)参加者人数(累計) 50人
		障害福祉課	心身障害者福祉センターで、障害者の支援につながる市民対象のボランティア養成講座等を開催する。	実施	B	・ボランティア養成講座15回(参加人数 65人)	B	・点訳ボランティア入門講座の開催(参加人数 17人) ・要約筆記ボランティア入門講習会(参加人数 38人)	心身障害者福祉センターで、障害者の支援につながる市民対象のボランティア養成講座等を開催する。	B	・点訳ボランティア入門講座の開催 3回(参加人数 10人) ・要約筆記ボランティア入門講習会 5回(参加人数 22人)	心身障害者福祉センターで、障害者の支援につながる市民対象のボランティア養成講座等を開催する。	実施
		生涯学習課	生涯学習人材バンク事業の推進	公民館担当と共に事業の検討	B	人材バンク登録者の活用に向けて、令和4年度一部の公民館講座の講師を人材バンク登録者から選定した。	A	人材バンク登録者の活用に向けて、令和4年度一部の公民館講座の講師を人材バンク登録者から選定した。また、人材バンク登録者から市民企画講座の募集を集め、人材バンク登録者から市民企画講座の講師を選定した。	人材バンク登録者を講師に起用した講座の開催	A	公民館講座の講師の選定や市民企画講座の企画募集において人材バンク登録者を活用した。事業の知名度の向上や活用に向けて、教頭向け研修会で学校に周知をした。	講座の講師や市民企画講座の企画募集で引き続き活用する。案内冊子を他生涯学習事業情報と統合し、より広い層へ周知をする。	人材バンク登録者を講師に起用した講座の開催
		生涯学習課(公民館)	地域の課題に関する講座の実施	実施	B	デジタル難民への支援として、IT講座を実施。	B	・デジタルデバイトの解消に向けた講座開催 37回(参加者数 160人)	・地域の課題を扱った講座を開催	A	・デジタルデバイトの解消に向けた講座開催 39回(参加者数 151人) ・シニアコースで国際理解や健康増進をテーマとした連続講座を開催(新設)	・地域の課題を扱った講座を開催	実施
地域課題の解決に向けた学びの推進		生涯学習課	地域活動の活性化や多世代交流につながる講座等の実施	講座テーマの検討	B	地域活動との結び付きを意識し、目白大学との連携による「生涯学習サポーター養成講座」を実施した。	A	地域の活動とのつながりを意識したシニア向け市民大学講座の新設に向け、コースの検討を行い、講座の実施向け関係課と調整を進めた。	地域活動の活性化や多世代交流につながる講座等の検討	A	地域の活動とのつながりを意識したシニア向け市民大学講座を新設し、実施した(3館)。	引き続き、地域活動の活性化や多世代交流につながるテーマの講座を開催する。	地域活動の活性化や多世代交流につながる講座の実施
		文化スポーツ課	文化祭・音楽祭・美術展覧会を開催し、文化鑑賞の機会を創出する。	鑑賞者数 12,947人	C	戸田市文化祭参加者数: 1,174人 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部中止 戸田市美術展覧会: 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	C	鑑賞者数 7,224人 文化祭鑑賞者数: 2,352人 音楽祭鑑賞者数: 2,655人 美術展覧会鑑賞者数: 2,217人	文化祭: 10月~11月開催予定 音楽祭: 9月~2月開催予定 美術展覧会: 10月開催予定	C	鑑賞者数 10,833人 文化祭鑑賞者数: 3,101人 音楽祭鑑賞者数: 4,996人 美術展覧会鑑賞者数: 2,736人	文化祭: 10月~11月開催予定 音楽祭: 9月~2月開催予定 美術展覧会: 9月~10月開催予定	鑑賞者数 12,947人以上

基本方針3 まちを元気に ~学びの成果の活用と交流の仕組みづくり~

施策	方策	担当課	取組内容	R3年度当初目標 (数値または状態)	R3年度 評価	R3年度取組概要	R4年度 評価	R4年度取組概要	R5年度の取組予定	R5年度取組 の評価	R5年度の取組概要	R6年度の取組予定	R7年度最終目標 (数値または状態)
学習の 成果共 有と意 欲向上	学習成果の 共有	生涯学習課 (公民館)	公民館まつりの開催に関する支援	継続して実施	B	オンライン開催(各サークルの作品等を配信)	B	・公民館まつり開催 3回 (参加者数 1087人)	・公民館まつりを開催	A	・公民館まつり開催 3回 (参加者数 1487人) ・福祉団体の菓子販売や子ども縁日など多世代が集まりやすいイベントを新規実施	・公民館まつりを開催	継続
		協働推進課	各まつりにおいて、市民が学習した成果を披露する機会を創出する。	市民が学習した成果を披露する機会を設けた催しの実施回数(3回)	B	・コンバルまつり(コロナウイルスのため中止) ・さくらバルまつり実施: 1回(その他は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止) ・戸田ふるさと祭り(オンライン開催)	B	・コンバルまつり実施: 1回 ・さくらバルまつり実施: 1回 ・戸田ふるさと祭り実施: 1回	市民が学習した成果を披露する機会を設けた催しの実施(3回)	B	・コンバルまつり実施: 1回 ・さくらバルまつり実施: 1回 ・戸田ふるさと祭り実施: 1回	市民が学習した成果を披露する機会を設けた催しの実施(3回)	市民が学習した成果を披露する機会を設けた催しの実施回数(3回)
		生涯学習課	あいバルフェスタ	実施	B	実施 (延べ参加者2,006人)	B	実施 (延べ参加者2,450人)	実施	B	実施 (延べ参加者2,256人)	実施	実施
		福祉保健センター	【戸田市健康福祉の杜まつり】健康福祉の杜3団体(福祉保健センター、社会福祉協議会、社会福祉事業団)主催として、敷地全体を活用したイベントを開催する。	(1)市民が健康づくりについて学び行動できるよう、情報の発信、啓発を行い健康意識の向上を図る。 (2)福祉や健康づくり活動に取り組む団体の活動を市民に周知し、市民交流を活性化し、主体的な福祉保健活動の担い手の育成を図る。 (3)健康福祉の杜全体でイベントを開催することで、盛大に開催できる。健康福祉の杜のPRだけでなく幅広い世代の参加を見込めるため、福祉や健康づくり活動の周知をすることができる。	実施なし。	評価不可	健康福祉の杜3団体(福祉保健センター、社会福祉協議会、社会福祉事業団)で協力し、保健センター及び駐車場の一部を利用し、市民向けの体験型イベントを開催した。	A	(1)市民が健康づくりについて学び行動できるよう、本事業により情報の発信、啓発を行うことで、市民の健康意識の向上を図る。 (2)福祉や健康づくり活動に取り組む団体の活動を市民に周知するとともに、市民交流を活性化し、主体的な福祉保健活動の担い手の育成を図る。 (3)健康福祉の杜全体でイベントを開催することで、盛大に開催できる。それにより、健康福祉の杜をPRできるだけでなく、幅広い世代の参加を見込めるため、福祉や健康づくり活動の周知をすることができる。	B	福祉保健センター、社会福祉協議会、社会福祉事業団の3団体主催により戸田市健康福祉の杜まつりを開催した。令和6年度はにじの杜等の施設の工事の影響により、敷地内の一部が使用できないことから、限られた範囲の中でレイアウトを決定する。また、開会・閉会の段取りや飲食スペースの設備・位置等について、令和5年度の開催時に課題として上がった内容について、3者で協議しながら改善を図っていく。	前年度と同様に、3団体により戸田市健康福祉の杜まつりを開催する。令和6年度はにじの杜等の施設の工事の影響により、敷地内の一部が使用できないことから、限られた範囲の中でレイアウトを決定する。また、開会・閉会の段取りや飲食スペースの設備・位置等について、令和5年度の開催時に課題として上がった内容について、3者で協議しながら改善を図っていく。	(1)市民が健康づくりについて学び行動できるよう、本事業により情報の発信、啓発を行うことで、市民の健康意識の向上を図る。 (2)福祉や健康づくり活動に取り組む団体の活動を市民に周知するとともに、市民交流を活性化し、主体的な福祉保健活動の担い手の育成を図る。 (3)健康福祉の杜全体でイベントを開催することで、盛大に開催できる。それにより、健康福祉の杜をPRできるだけでなく、幅広い世代の参加を見込めるため、福祉や健康づくり活動の周知をすることができる。
	学習意欲の 向上	文化スポーツ課	スポーツ教室の開催	参加者数 52,258人	評価不可	庁内調査未実施のため評価不可	C	参加者数: 34,280人	各種ポート教室、カヌー教室、スポーツセンタースポーツ教室等	C	参加者数 48,275人 (令和5年度分6月以降に調査予定のため、令和4年度実績)	各種ポート教室、カヌー教室、スポーツセンタースポーツ教室等	参加者数 57,350人
		健康長寿課	老人クラブ活動事業(シルバースポーツ大会、ゲートボール大会、グラウンドゴルフ大会、演芸大会、作品展等)	実施	B	コロナ禍により大規模な行事が中止になった。各単位老人クラブの活動については、感染防止に留意しながら実施した。	B	コロナ禍により大規模な行事が中止になった。各単位老人クラブの活動については、感染防止に留意しながら実施した。	中止となっていた行事(シルバースポーツ大会、グラウンドゴルフ大会、演芸大会、作品展など)を実施予定。	B	シルバースポーツ大会、グラウンドゴルフ大会、演芸大会、作品展すべて実施することが出来た。コロナ前と比べて参加人数の少ない行事も一部あった。	R5年度実施した行事内容を踏まえ、それぞれの内容を充実させた行事運営を実施予定	推進
		生涯学習課	市民・大学・民間企業・NPO等との連携事業の調査研究及び実施	市民・大学・民間企業・NPO等との連携事業の調査研究	B	民間企業と連携したリカレント教育のあり方など、他自治体の事例について調査・研究を実施	B	民間企業と連携したリカレント教育のあり方など、他自治体の事例について調査・研究を実施	市民・大学・民間企業・NPO等との連携事業の調査研究。	B	民間企業と連携したリカレント教育のあり方など、他自治体の事例について調査・研究を実施	市民・大学・民間企業・NPO等との連携事業の調査研究。	市民・大学・民間企業・NPO等との連携事業の実施

基本方針3 まちを元気に ~学びの成果の活用と交流の仕組みづくり~

施策	方策	担当課	取組内容	R3年度当初目標 (数値または状態)	R3年度 評価	R3年度取組概要	R4年度 評価	R4年度取組概要	R5年度の取組予定	R5年度取組 の評価	R5年度の取組概要	R6年度の取組予定	R7年度最終目標 (数値または状態)
協働体制の構築	市民・大学・企業・関係機関等との連携強化	生涯学習課 (公民館)	近隣大学等と連携した子ども大学の実施	実施	B	オンライン配信にて実施。	A	大学等と連携した子ども大学開催 (参加者数 41人)	大学等と連携した子ども大学を開催	B	大学等と連携した子ども大学開催 (参加者数 28人)	大学等と連携した子ども大学を開催	実施
		協働推進課	市内各種イベントにおいて周知・啓発活動を実施する。	市内各種イベントにおける啓発活動の実施回数(2回)	B	・さくらバルまつり実施: 1回(その他は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)	B	・とだ環境フェア、さくらバルまつりにて実施: 2回	市内各種イベントにおける啓発活動の実施(2回)	C	商工祭: 実施1回(自治基本条例推進委員会啓発)	市内各種イベントにおける啓発活動の実施(2回)	市内各種イベントにおける啓発活動の実施回数(5回)
	生涯学習課	生涯学習関係課との連携体制の構築	・第5次生涯学習推進計画の各課の進捗状況について、共有を行う。 ・市民大学運営委員会の開催(全体で検討すべき共通のテーマを含む)	B	計画の進捗状況の共有は令和4年度から実施。市民大学運営委員会を畫面開催(市民企画講座の審査等)。	B	・第5次生涯学習推進計画の各課の進捗状況について、共有を行った。 ・市民大学運営委員会には、市民企画講座の講座選定を実施した。	・第5次生涯学習推進計画の各課の進捗状況について、共有を行う。 ・市民大学講座の実施にあたり、必要に応じて各課と連携を図る。	A	・第5次生涯学習推進計画の各課の進捗状況について、共有を行った。 ・他課と連携し、健康増進や国際理解の連続講座を実施した。	・第5次生涯学習推進計画の各課の進捗状況の管理を行う。 ・市民大学講座の実施にあたり、必要に応じて各課と連携を図る。	・第5次生涯学習推進計画の各課の進捗状況について、共有を行う。	
		生涯学習関係施設間の連携・情報共有により、個々の施設の一層の充実をはかる	各施設で行っている講座の情報や、独自に行っている取組等についてまとめ、施設間で共有する。	B	生涯学習情報誌「あなたも生涯学習を！」の作成・市内各施設の講座を可視化。施設間での直接的な連携・共有は未実施。	B	生涯学習情報誌「あなたも生涯学習を！」の作成・市内各施設の講座を可視化。施設間での直接的な連携・共有は未実施。	各施設で行っている講座の情報や、独自に行っている取組等についてまとめ、施設間で共有する。	A	生涯学習情報誌「あなたも生涯学習を！」の作成・市内各施設の講座を可視化。施設間での取組は、公民館だより等各種発行物等により共有した。市民大学アーカイブズの拡充を図った。	従来の生涯学習情報誌「あなたも生涯学習を！」と、出前講座メニュー表や人材バンクの講師リストの冊子を統合させ、より手取りやすい情報とする。	各施設で行っている講座の情報や、独自に行っている取組等についてまとめ、施設間で共有する。	
		生涯学習課所管審議会間の連携	社会教育委員会議に博物館運営審議会や図書館運営審議会などの委員の併任を推進する。	A	博物館協議会から1名、図書館運営協議会から3名が社会教育委員を併任し、生涯学習課所管審議会間の連携をはかった。	B	博物館協議会1名、図書館運営協議会2名が社会教育委員を併任し、生涯学習課所管審議会間の連携をはかった。	社会教育委員会議に博物館運営審議会や図書館運営審議会などの委員の併任を推進する。	A	令和5年度の社会教育委員会議委嘱替えに際し、博物館運営審議会や図書館運営審議会などの委員の併任を実施しつつも、メンバーを刷新し充実した会議体制となった。	社会教育委員会議に博物館運営審議会や図書館運営審議会などの委員の併任を推進する。	社会教育委員会議に博物館運営審議会や図書館運営審議会などの委員の併任を推進する。	
		生涯学習に関する市民ニーズ等の調査・分析	受講者アンケート項目の見直しを行う。	B	講座のオンライン・オンデマンド配信の開始に伴い、受講方法別にアンケート内容を工夫した。	B	講座のオンデマンド配信に伴い、受講方法別にアンケート内容を工夫した。	受講者アンケートの記述内容を分析し、市民ニーズを踏まえた講座計画を検討する。	A	・アンケート項目の一部見直しを実施した。 ・各講座のアンケート集計分析を行い、講座計画の参考とした。	令和7年度の計画策定に向け、必要に応じて講座アンケート等の内容の見直しを行う。	・アンケート結果をもとに、生涯学習事業の実施・改善を行う。	